

第40回秋田県優良工事表彰 第5回秋田県優良業務表彰



令和元年9月
秋 田 県



表紙：第40回秋田県優良工事表彰から

左上：国道103号 地方道路交付金工事（交通安全） 29-F192-10

右上：第1槻沢地区 ため池等整備（ため池）工事 01804-K02

左下：福士川 総合流域防災工事（河川改修） 29-KB28-10

右下：岩館漁港 水産物供給基盤整備工事 10130-K01

第40回秋田県優良工事表彰式 第5回秋田県優良業務表彰式

とき 令和元年9月2日(月)
午後3時15分～5時15分
ところ 秋田県庁正庁

次 第

1. 開式のことば
2. 式 辞 知 事
3. 来賓祝辞 県議会議長
4. 審査報告 建設部建設産業
振興統括監
5. 表彰状授与(工事) 知 事
6. 受賞者謝辞(工事) 受賞者代表
7. 表彰状授与(業務) 知 事
8. 受賞者謝辞(業務) 受賞者代表
9. 閉式のことば



第40回秋田県優良工事表彰から
 岩井沢地区 治山施設機能強化工事 RF1115A011

目次

・ お祝いの言葉	2
・ 第40回秋田県優良工事表彰及び 第5回秋田県優良業務表彰について	3
・ 第40回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	42
・ 秋田県優良工事表彰要綱	43
・ 第5回秋田県優良業務表彰業務一覧表	44
・ 表彰業務の概要	45
・ 秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿	57
・ 秋田県優良業務表彰要綱	58



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

秋田県優良工事表彰及び秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で40回目を迎えました。今回受賞された36件は、対象となる1,825件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成された工事であります。

また、優良業務表彰制度は、測量や調査・設計を行う県内企業の技術者の育成・確保を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度が第5回目の表彰となります。今回受賞された12件は、941件の業務から選定され、いずれも、豊富な経験と優れた技術により完了した業務であります。

建設産業は、地域の生活や産業活動を支える社会資本整備の担い手としてだけでなく、県民の安全・安心な暮らしを守る地域防災の担い手として、また、地域の経済と雇用を支える基幹産業として重要な役割を果たしております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、新技術・新工法導入等による活動領域の拡大を支援するとともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営が図られるよう、若者や女性などの担い手確保に資する取組を推進してまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる皆様におかれましては、今後とも県勢発展のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

第40回秋田県優良工事表彰及び第5回秋田県優良業務表彰について



秋田県優良工事・優良業務表彰幹事長
秋田県 建設部 建設産業振興統括監
佐藤 和義

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。

今回は、平成30年度に完成した工事の中から、36件の工事を優良工事として表彰するものです。受注形態別の内訳は、単独企業受賞が28件、共同企業体受賞が8件となっており、受賞企業全38社のうち、1社を10回目の受賞、1社を5回目の受賞として、特別表彰とするものです。

これらの工事は、自然条件や施工上の制約が厳しい中、優れた技術力と創意工夫により工事を完成させているほか、品質確保、安全対策面においても高く評価されたものであり、そのご努力に対し敬意を表するものであります。

また、平成27年度からは、測量や調査・設計に携わる県内企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に、秋田県優良業務表彰を創設しております。

今回は、平成30年度に完了した業務の中から、12件の業務を優良業務として表彰するものであり、専門技術力や品質管理能力等が特に優れており、他の模範となる業務であります。

受賞された皆様には、今回の優良工事表彰及び優良業務表彰を機に、維持管理時代に即応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められ、地域社会に貢献されますことを期待申し上げます。

第40回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1		谷内地区 復旧治山工事 RA1101A031	鹿角市 八幡平	株式会社新東組	佐藤 弘毅	鹿角地域振興局
2		国道103号 地方道路交付金工事(交通安全) 29-F192-10	鹿角市 十和田 大湯	株式会社柳沢建設	柳沢 義生	鹿角地域振興局
3	特別表彰 (5回)	富士川 総合流域防災工事 29-KB28-10	鹿角市 花輪	株式会社村木組	村木 通良	鹿角地域振興局
4		三ツ屋岱地区 農地集積加速化基盤整備工事 07003-K05	北秋田市 坊沢	株式会社津谷組	九島 平悦	北秋田地域振興局
5		立又鉱山地区 休廃止鉱山鉱害防止工事 RB1132A911	大館市 比内町 谷地中	平和建設株式会社	菊地 建一	北秋田地域振興局
6	特別表彰 (10回)	国道285号 地方道路交付金工事(改築) 30-HF54-30	北秋田市 米内沢	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田地域振興局
7		白沢田代線 地方道路交付金工事(交通安全) 30-F176-10	大館市 花岡町	花岡土建株式会社	鈴木 泚士	北秋田地域振興局
8		大館能代空港西線(鷹巣西道路) 地方道路交付金工事(改築) 30-HF27-40	北秋田市 坊沢	株式会社佐藤庫組	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
9		柗沢沢 県単砂防工事(自然防止債・砂防) 30-L220-20	大館市 餌釣	株式会社オオタバ	澤口 美恵子	北秋田地域振興局
10		岩館漁港 水産物供給基盤整備工事 10130-K01	八峰町 八森	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
11		西山下地区 防災林造成工事 RC1103A911	能代市 浅内	斎藤建設株式会社	斎藤 宗一郎	山本地域振興局
12		三種川 河川改修工事 29-KY24-B0	三種町 下岩川	成田建設株式会社	成田 保	山本地域振興局
13		能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-K4	能代市 能代港	加藤建設・清水組 特定建設工事共同企業 体	加藤 正己	能代港湾事務所
14		八郎潟2期地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 03602-K02	八郎潟町 川口	菅与組・マルチ建設 特定建設工事共同企業 体	菅原 孝次郎	秋田地域振興局
15		椿(船川港)漁港地区 水産物供給基盤整備工事 11030-K03	男鹿市 船川港 椿	三和興業株式会社	武田 鋭彦	秋田地域振興局
16		砂奴寄地区 防災林造成工事 RD1103A121	秋田市 新屋町	村岡・高橋秋和 特定建設工事共同企業 体	村岡 兼幸	秋田地域振興局
17		川添下浜停車場線 地方道路交付金工事(改築) 29-HF20-30	秋田市 下浜羽川	株式会社加藤建設	加藤 正己	秋田地域振興局
18		天王海岸 海岸災害関連工事 29-MK11-51	潟上市 天王	加藤建設・大森建設 特定建設工事共同企業 体	加藤 正己	秋田地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第40回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
19		秋田港向浜地区 向浜ふ頭用地造成工事 29-Z401-20	秋田市 向浜	株式会社沢木組・株式会 社加藤建設特定建設工 事共同企業体	沢木 則明	秋田港湾事務所
20		秋田港向浜地区 向浜ふ頭用地造成工事 29-Z401-K2	秋田市 向浜	三和興業・広洋産業 特定建設工事共同企業 体	武田 鋭彦	秋田港湾事務所
21		鳥水台地区 復旧治山工事 RE1101A911	由利本荘市 南ノ股	山勇建設工業株式会社	猪股 榮助	由利地域振興局
22		冬師西目線 道路災害復旧工事 30-0086-10	由利本荘市 西目町 西目	有限会社三浦土木	三浦 秀人	由利地域振興局
23		芋川 河川災害復旧工事 29-0246-10	由利本荘市 小栗山	菊地建設株式会社	橋本 一康	由利地域振興局
24		館下地区 ため池等整備(河川対応)工事 01502-K02	仙北市 角館町 川原	角館建設工業株式会社	仲野谷 藤吾	仙北地域振興局
25		下淀川地区 農地集積加速化基盤整備工事 06303-K05	大仙市 協和 下淀川	進藤建設株式会社	進藤 章	仙北地域振興局
26		岩井沢地区 治山施設機能強化工事 RF1115A011	仙北市 田沢湖 生保内	万六建設株式会社	田中 恒雄	仙北地域振興局
27		淀川 災害対策等緊急工事 29-KA72-10	大仙市 協和 下淀川	株式会社宮原組	宮原 竜也	仙北地域振興局
28		淀川 災害対策等緊急工事 29-KA72-20	大仙市 協和 下淀川	秋田振興建設株式会社	小原 将司郎	仙北地域振興局
29		淀川 河川災害関連工事 29-KH10-30	大仙市 協和 下淀川	株式会社荒屋舗建設	今野 春夫	仙北地域振興局
30		田ノ植地区 農地集積加速化基盤整備工事 06704-K14	横手市 平鹿町 中吉田	株式会社吉田建設	吉田 博行	平鹿地域振興局
31		横手地区 農地集積加速化基盤整備工事 06604-K25	横手市 三本柳	株式会社最上田組	最上田 政司	平鹿地域振興局
32		野崎十文字線 地方道路交付金工事(雪寒) 30-F107-10	横手市 大雄	株式会社マルサ建設	佐藤 義美	平鹿地域振興局
33		外山落合線 道路災害復旧工事 29災-0175-10	横手市 山内 大松川	有限会社野崎建設	野崎 秋夫	平鹿地域振興局
34		第1槻沢地区 ため池等整備(ため池)工事 01804-K02	湯沢市 下院内	和賀・高嶋 特定建設工事共同企業 体	和賀 幸雄	雄勝地域振興局
35		大曲大森羽後線 地方道路交付金工事(改築) 29-HF26-30	羽後町 字西新成	株式会社小野建設	小野 雅敏	雄勝地域振興局
36		水産振興センター 育成棟機械設備工事 3001	男鹿市 船川港台島	(株)沢木組・互大設備工 業(株)特定建設工事共 同企業体	沢木 則明	水産漁港課

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

1 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	谷内地区 復旧治山工事 RA1101A031		
路河川名/地区名	谷内地区	施工地名	鹿角市八幡平
商号又は名称	株式会社新東組	許可番号	05-001967
請 負 額	48,413,160 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 弘毅		
監理技術者等	現場代理人 阿部 俊一		
監督実施公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	神成 猛	監 督 員	村上 雅美
工 期	平成30年3月30日～ 平成30年10月31日	完成年月日	平成30年10月31日
概 要	1) 治山ダム工2基		
特 徴	1) 急峻で狭隘な地形における安全対策の徹底 2) コンクリートの打設管理及び効率的な生コン車運搬路の確保		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">着手前</div>  </div> <div style="text-align: center;"> NO.3コンクリート床固工 </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">完成</div>  </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は急勾配の渓流で、渓床幅の狭い箇所での施工箇所もあり安全管理には特段の配慮が求められた状況で、効率的な施工が図られ創意工夫が優秀であった。
- ・山間奥地の工事のため、コンクリート打設は長距離配管によるポンプ車打設であったが、コンクリートミキサー車の効率的な手配や運搬経路管理、最適なポンプ車規格の選定により打設トラブルや交通障害を発生させることなく完成させ、コンクリートの良質な品質が確保されている。
- ・地元との調整（関係自治会や水利組合）を積極的に実施したことにより、トラブル無く工事が円滑に行われた。

◆施工業者からのPR

- ・急勾配で狭隘な現場であり、限られたスペースに重機と作業員と資材をどの様に配置するか非常に頭を悩ませる現場でありましたが、関わる人達の中で様々な意見を出し合い安全に作業を進める事が出来ました。
- ・地域の水源地に隣接する場所である事から、現場へ通ずる林道は工事車両も一般車両も多く通行しておりました。その為、わだちや洗掘箇所、崩落が予想される箇所へのこまめな道路補修を行った結果、事故もなくスムーズな運行ができ地域の方々からも喜ばれました。

2 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（交通安全） 29-F192-10		
路河川名/地区名	国道103号	施工地名	鹿角市十和田大湯
商号又は名称	株式会社柳沢建設	許可番号	05-001843
請 負 額	95,626,440 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 柳沢 義生		
監理技術者等	現場代理人 工藤 求		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	金澤 和春	監 督 員	山内 和彦
工 期	平成29年7月14日 ~ 平成31年3月25日	完成年月日	平成31年3月25日
概 要	1) 施工延長L=200m 2) 道路土工N=1式 3) 地盤改良工(置換)V=1,000m ³ 4) 排水構造物工L=359m 5) アスファルト舗装工A=2,011m ² 6) 防護柵工L=394m		
特 徴	1) 大型車両交通の多い国道における現道拡幅工事 2) 道路沿線において複数工事があり、その工程調整に配慮した工事		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>完 成</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>完成(全景)</p>  </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 本工事は、国道103号の現道拡幅工事である。
- ・ 当現場は大型車両交通も多く、観光シーズンになると大型バスの通行もさらに増えることとなる。現場付近には迂回路も無いため、片側交互通行切り返しを繰り返しながらの施工であったが、事故及び住民からの苦情やトラブルもなく工事を完成することができた。
- ・ 当現場と隣接する複数工事や工事区域内における別途工事（送水管理設）と工程調整を行い、事故なく無事に工事を完成させた。
- ・ 地元自治会への協力を行い、地域住民と良好な関係を築きながら工事を完成させた。
- ・ 会社全体で創意工夫に積極的に取り組んでおり、他の模範となる取組が行われている。

◆施工業者からのPR

- ・ 当現場は、車両交通も多い国道103号での現道拡幅工事であるが、公衆災害やトラブルが発生しないよう安全管理等に十分に気をつけ作業を行った。
- ・ 当現場隣接の地元自治会が利用している農道について、補修作業を行いコミュニケーションを図った。
- ・ 地元小学校からの現場見学会や職場体験学習の依頼を受け、子供達に建設業の魅力を感じてもらい、興味を持ってもらえるよう活動した。



3 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	総合流域防災工事（河川改修） 29-KB28-10		
路河川名/地区名	福士川	施工地名	鹿角市花輪
商号又は名称	株式会社村木組	許可番号	05-014040
請 負 額	89,293,320 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 村木 通良		
監理技術者等	現場代理人 渡邊 高志		
監督実施公所	鹿角地域振興局 （建設部）		
主任監督員	北林 了以	監 督 員	内藤 泰士
工 期	平成29年9月15日～ 平成30年10月5日	完成年月日	平成30年10月1日
概 要	1) 施工延長 L=79.0m 2) コンクリートブロック積 A=520m ² 3) 根固めブロック 1t N=90個 4) 根固めブロック 3t N=144個		
特 徴	1) 落差及び流速が大きく、厳しい現場条件での河川改修 2) レザースキャナーを用いた精度の高い現場管理		
写 真			
着工前		完 成	
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・現場付近には人家や水田があり、騒音・粉塵の抑制や水田への水を一定量確保する等の周辺住民への配慮が必要であったが、低騒音型重機の使用、散水や清掃、取水施設への水の供給等を行うことで地域住民との良好な関係を築き、大きな苦情等もなく工事を完成させた。 ・現況と計画河床の落差により流速が大きく、河床洗掘の発生が懸念される現場であったが、既設根固めブロックを上流側へ設置し小落差を設けることで流速を抑え、洗掘の発生を防いだ。 ・レーザーキャナーを用いた起工測量を実施することで測量作業の効率化を図った。 ・隣接する県道は通学路であり、朝夕の歩行者も多いため、現場出入口に交通誘導警備員を配置するなど、万全の安全対策を実施し、無事故で工事を完了した。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・現況河川と計画河床は落差があり流速が大きく、降雨時の増水により河床洗掘を防止するため、既存の根固めブロック(2t型)を上流部へ設置し、小落差を設け流速を抑えることにより洗掘を防いだ。 ・起工測量で現況河川の形状をレーザーキャナーを用いて地形測量を行い現場作業の効率を図った結果、精度の高い出来形を確保できた。 ・周辺は通学路であり、朝と夕方は小学生や通勤時の通行人が多数いるため、現場出入口へ交通誘導警備員を配置し安全確保に努めた。 ・ドローン撮影による進捗管理を行い、履行報告に活用した。

4 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	三ツ屋岱地区 農地集積加速化基盤整備工事 07003-K05		
路河川名/地区名	三ツ屋岱地区	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	株式会社津谷組	許可番号	05-001554
請 負 額	40,254,840 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 九島 平悦		
監理技術者等	現場代理人 藤原 大		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	長谷川 龍彦	監 督 員	山本 一貴
工 期	平成30年9月25日～ 平成31年3月8日	完成年月日	平成31年3月8日
概 要	1) 土留工（鋼矢板Ⅳ型）N=71枚 2) 既設取水施設撤去工 N=1式 3) 護岸工 L=20m		
特 徴	1) 米代川本川での仮締切及び護岸の施工		
写 真			
着工前	完成		
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、米代川に設置されている既設の取水施設を撤去する工事であり、仮設工として鋼矢板で仮締切を行い、撤去後には大型ブロックで護岸を復旧する工事である。 ・国土交通省との河川協議において、工期や復旧工法などに制約を受ける工事であったが、仮締切や基礎工の施工計画を工夫することで予定工期内で工事を完成させ、品質、出来ばえとも良好である。 ・重機や資機材の搬入路である市道は、地域住民や他業者の車両が頻繁に通行するが、幅員が狭いことに加え、冬期間で通行に支障を来たしていたため、交通誘導やカーブミラーの設置、路面凍結時には融雪剤散布を行うなど、第三者の安全・交通事故防止に努めている。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・仮締切の鋼矢板の位置は水中となるが、水深もあり杭やマーキングが出来ないため、施工前に測量基準点をCADで図面上に取込み、座標を設けて管理を行った。鋼矢板の通りを出す際は、予め出した逃げ杭に光波距離計を設置し、レーザー照射にて通り線を出し施工した。 ・大型ブロックの基礎コンクリートは、二次製品の使用を提案し、鉄筋の配置や強度・矢板基礎との位置関係等をブロックメーカーと密に打合せをしたことにより、作業の効率化、工期短縮及び強固な構造に資することができた。

5 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	立又鉾山地区 休廃止鉾山鉾害防止工事 RB1132A911		
路河川名/地区名	立又鉾山地区	施工地名	大館市比内町谷地中
商号又は名称	平和建設株式会社	許可番号	05-001945
請 負 額	44,273,520 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 菊地 建一		
監理技術者等	現場代理人 羽沢 正哉		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	森川 光彦	監 督 員	本間 定寿
工 期	平成30年8月10日～ 平成31年1月31日	完成年月日	平成30年12月25日
概 要	1) 仮設道路工(指定仮設) 施工延長 L=0.0(105.4)m W=4.0m		
特 徴	1) 起点から押え盛土法面を切らない高さを確保して現道に接続する 必要があり、傾斜地に縦断勾配15%の路線を開設する工事		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>盛土材運搬敷き均し状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>完成</p>  </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 立又鉾山杉山沢堆積場のかん止堤安定化対策工事の仮設道路工で、かん止堤及び、かん止堤安定化対策工の押え盛土法面を切らない高さを確保して現道に接続する必要があり、起点から150mは平均30度の傾斜地に縦断勾配15%の盛土となる路線の開設工事である。 ・ 週間予定工程表を作成して、作業予定・進捗状況報告・段階確認時期の調整等を行ったことにより、施工及び確認等がスムーズに進み工期を大幅に短縮して完成させた。 ・ 施工箇所までは集落内の生活道路を通過するため、地元町内会長を通じてチラシを配布するなどして工事の周知と理解を求めたほか、周辺道路に待避所の案内を標示し通行車両の安全確保に努め、無事故で工事を完成させた。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事の仮設道路(指定仮設)は縦断勾配が15%と急勾配であったため、盛土材の安定性を確保するため、一軸圧縮試験及び三軸圧縮試験を行い、盛土材の安定性を確認した後、施工を行った。 ・ 地元集落から本工事箇所への通路が狭いため、退避所を設置し第三者車両との事故防止に配慮した。 ・ 道路の縦断勾配が15%と急勾配であったため、施工後の降雨等による盛土材の流出防止対策として、路面排水工(横断排水)及び法面排水工(縦排水)を設置し、防護及び保全を行った。

6 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 30-HF54-30		
路河川名/地区名	国道285号	施工地名	北秋田市米内沢
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	05-081727
請 負 額	118,339,920 円	工 種 ・ 格 付	舗装 A級
代 表 者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 小林 勇輝		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	天野 啓秀	監 督 員	木村 圭佑
工 期	平成30年9月14日 ~ 平成30年12月5日	完成年月日	平成30年12月5日
概 要	1) 施工延長 L=1,350m 2) 表層（車道・路肩部） A=12,830m ²		
特 徴	1) バイパスの開通日固定のため工程管理で特に配慮が求められる工事 2) 気温が下がる時期での舗装のため温度管理が求められる工事		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ バイパスの開通日が決まっており、工期の短い中で工事を遅れなく完成させ、バイパスを無事開通させた。
- ・ 外気温が低下していく時期に向かったの舗装工事の中で、様々な対策を講じ高い品質を実現した。
- ・ アスファルトフィニシャーに非接触型超音波センサーや自動制御スクリーセンサーを使用するなど細やかな厚さ管理や機械への過度な振動を防止し、平坦性の向上を図っている。
- ・ バイパス開通日を知らせる看板を設置し、バイパス開通を地元や走行している運転手へ広く周知したほか、周辺環境の整備を数多く実施し、地域等への貢献が認められる。

◆施工業者からのPR

- ・ 受注時には開通日が決定されていた本工事は、資機材の遅れによるロスがそのまま工程に影響することから、資材の大小にかかわらず全ての物品を計画工程表に記入して漏れ無く納入することと、機材を現場に常駐することにより、資機材の遅れによるロスを排除した。
- ・ 日当たり施工量を増やす目的から、管理職員の増員や舗設作業班の2班体制化、また別途で前段取りを行う班も増設し、各工種の作業を計画的に分担する事で作業の効率を上げた。結果として工事全体で当初工程より16日間の短縮を図ることができ、無事に開通式を迎えることができた。

7 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金工事（交通安全） 30-F176-10		
路河川名/地区名	白沢田代線	施工地名	大館市花岡町
商号又は名称	花岡土建株式会社	許可番号	05-002129
請 負 額	50,700,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 鈴木 泚士		
監理技術者等	現場代理人 今川 徳正		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	柴田 和幸	監 督 員	浅野 大貴
工 期	平成30年7月27日～ 平成31年3月22日	完成年月日	平成31年3月22日
概 要	1) 施工延長 L=29.8m 2) 逆T式橋台工 N=1基 3) 場所打杭工 N=4本 4) 護岸工 A=196m ²		
特 徴	1) 河川区域内での作業があり、かつ完全週休2日モデル工事のため、施工可能期間が限られた中で正確な工程管理が必要な工事		
写 真			
			
施工前		施工後	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 非出水期にしか施工できない工種が多く、かつ完全週休2日モデル工事という施工時間が限られているなかで、工程管理を適切に行い、段階確認及び中間検査の時期について連絡を密にとり、効率的に作業を進め工事を完成させた。 ・ スマートフォン電子小黒板を利用したことにより、黒板を準備する手間を省き、特に作業足場上などの狭い空間において効率的な写真管理を行った。 ・ 現場（沿道沿い）にふれあい看板を設置し、工事の進捗状況や工事内容（定点写真）を掲示することで地域住民に工事への理解を深めている。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ クレーン作業および資材置き場の確保が困難であったため、法尻に大型土のうを設置して、作業ヤードを確保した。 ・ 現場内から道路に出る際に道路の汚損が生じる恐れがあったため、敷鉄板にて土砂部を養生を実施した。 ・ 花岡大森、釈迦内長面袋、粕田地内の（約200軒）地域住民へ工事のお知らせを一軒一軒に配布し、地域住民の理解と協力を得ながら工事を終えることができた。

8 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 30-HF27-40		
路河川名/地区名	大館能代空港西線（鷹巣西道路）	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請 負 額	70,730,280 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人 菊池 昭徳		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	天野 啓秀	監 督 員	越前谷 宏昭
工 期	平成30年 8月 3日～ 平成31年 3月22日	完成年月日	平成31年 3月22日
概 要	1) 施工延長 L=290.5m 2) コンクリートブロック積 A=75m ² 3) 排水構造物工 1式 4) 路体盛土 V=3,300n ³ 5) 路体盛土 (ICT) V=6,800m ³		
特 徴	1) ICT建設機械を用いての路体盛土の施工 2) 隣接する工区と同時期な施工期間		

写 真



完成写真



ICT建設機械による施工状況

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、高規格道路の路体盛土工事を主とし、受注者の希望によりICT技術活用に取り組んだ工事である。
- ・作業効率や施工期間短縮を考慮しICT技術を活用したことにより、出来形、品質とも精度が高いほか、試験の省略や管理業務の効率化を図るなど、他の模範となる工事である。
- ・隣接工区との差異が生じないよう互いに測量データを共有し、施工している。
- ・女性の観点による、女性だけの社内パトロールを実施し、衛生面等の向上が図られている。

◆施工業者からのPR

- ・GNSSを用いた盛土の転圧管理を採用し、試験盛土のデータで決定した転圧回数を転圧不足、過転圧の無いように品質管理に努めた。また、転圧前に所定の締固め度が得られる含水比の範囲内か、RI計器により確認してから転圧を開始した。さらに、適時RI計器による現場密度試験を行い、現場密度が規格値を満足しているか確認を行いながら施工した。
- ・ボックスカルバートの盛土施工は、不同沈下や構造物の変位を考慮して粒度分布の良い材料を選定し、1層の仕上り厚さを20cmとして施工した。また、ボックスカルバート際は起振力45KN級の大型バイプロコンパクトにて締固めを行い、ウイングや踏掛版の部分はサンドバイブレーターにて締固めを行った。

9 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単砂防工事（自然防止債・砂防） 30-L220-20		
路河川名/地区名	柵沢沢	施工地名	大館市餌釣
商号又は名称	株式会社オオタベ	許可番号	05-004417
請 負 額	51,600,240 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 澤口 美恵子		
監理技術者等	現場代理人 曲田 忍		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	由利 一	監 督 員	佐々木 丈
工 期	平成30年7月27日～ 平成31年3月29日	完成年月日	平成31年3月27日
概 要	1) コンクリート堰堤工 N=1基 (H=6.0m, L=49.2m) 2) 砂防土工 N=1式		
特 徴	1) 土石流危険渓流内に位置し、降雨時の土砂災害を警戒すべき工事 2) 当該現場極近傍に人家を有し、騒音等に関する配慮を要する工事		
写 真			
			
着工前写真		完成後写真	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該現場は土石流危険渓流内に位置し、出水時の土砂災害が懸念されたが、渓流下流の現場事務所に雨量計を設置し、事前に渓流の増水や変状を予測し、施工に反映することで災害事故防止を図っている。
- ・高所の砂防掘削を伴うため、施工上の安全性確保が課題であったが、NETIS登録のセーフティーマー工法（無人化遠隔施工）を採用し、無事故かつ優れた出来形を確保している。
- ・現場近傍に人家を有し、工事による住民生活への影響が懸念されたため、防音シートを敷設し、振動や騒音を低減させるなど環境に配慮した工事を実施している。
- ・高校生を対象とした現場見学会を開催し、建設業への理解と関心、興味が高まるように取り組んでいる。

◆施工業者からのPR

- ・コンクリート現場試験の頻度を多くし、常に適切な品質を得られるように努めた。また、寒中コンクリートの施工だった為、おんどりを使用し、養生中の温度を10℃前後に保ち品質向上に努めた。
- ・出来形管理においては、社内管理値を±80%以内と定めて社内検査を実施、管理したことで、すべて±50%以内に収めることが出来た。
- ・生コンクリートの搬入にあたり、集落部市道の運行となる為、一般通行車両及び近隣に対し、理解と協力を得られるように集落部市道にコンクリート打設日がわかる予告看板を設置して車両事故防止に努めた。

10 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	岩館漁港 水産物供給基盤整備工事 10130-K01		
路河川名/地区名	岩館漁港	施工地名	八峰町八森
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	05-081607
請 負 額	105,847,560 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 須藤 高彦		
監督実施公所	山本地域振興局 (農林部)		
主任監督員	加賀 博文	監 督 員	佐藤 伸哉
工 期	平成30年8月10日～ 平成31年3月15日	完成年月日	平成31年3月11日
概 要	1) -2.0m泊地浚渫 A=217.4m ² V=391.0m ³ 2) 突堤 L=20.0m、護岸 L=33.1m、船揚場 L=30.0m		
特 徴	1) 岩館漁港の分港船揚場を新設するため、水中コンクリートによる突堤築造や約6mの高さとなる護岸、大型ボックスカルバートによる放流位置の変更・水替、住宅地への振動・騒音対策など他工種にわたる工事		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 岩館漁港分港は、岸壁施設がないため漁獲物の荷揚げ作業に不便な状況を強いられており、作業車両の駐車もできない状況である。また船揚場本体のコンクリート面が老朽化しており、道路幅員も狭小なため車両が交差できないことから、臨港道路も含め分港施設を一体的に整備するものである。
- ・ 施工期間中に、現場周辺でのあわび漁や季節ハタハタ漁と重なり地元漁協者との調整や冬場の厳しい施工条件等が絡んだ工事であり、確実なコンクリートの品質確保が求められた。このような条件下で、施工方法の工夫、地元漁協者との密な調整を行い工期内に完成させるとともに、出来形や品質を確保するための施工管理をしており、他工事の模範となるものであった。

◆施工業者からのPR

- ・ 水中コンクリートの大型型枠据付時、クレーンの作業半径の増大による吊上げ能力低下対策として、クレーンの作業足場を大幅に造成する必要があった。しかし、ハタハタ漁との制限で工程上作業足場を拡幅することが困難であったため、大型型枠に発泡スチロールを取付け、据付時の浮力増加を図り荷重を軽減させクレーンの作業半径を確保した。
- ・ 護岸工のパラペット工では構造物の勾配が1:0.5となっており、コンクリート表面に気泡が多く発生する事が懸念された。そのため気泡を減少させ、且つ凍結融解による破壊を軽減させる目的で、型枠にコンクリート型枠用透水性シートを使用し、品質の確保を図った。


1 1 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	西山下地区 防災林造成工事 RC1103A911		
路河川名/地区名	西山下地区	施工地名	能代市浅内
商号又は名称	斎藤建設株式会社	許可番号	05-000827
請 負 額	59,066,280 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 斎藤 宗一郎		
監理技術者等	現場代理人 松嶋 圭佑		
監督実施公所	山本地域振興局 (農林部)		
主任監督員	今川 順	監 督 員	笠井 郁
工 期	平成30年3月29日～ 平成30年10月31日	完成年月日	平成30年10月22日
概 要	1) 防潮護岸工 (嵩上げ) L=123.0m 2) 消波根固工 (嵩上げ) L=118.0m		
特 徴	1) 品質向上対策の徹底による、良好な出来映え 2) 現場作業員への安全管理徹底や出来形管理の工夫など良好な施工体制		
写 真			
完成		消波根固工 据付状況	
			

◆監督実施公所の推薦理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、強風、波浪に伴う海岸の侵食や飛砂を防止するため、既設防潮護岸工及び消波根固工の嵩上げを行う工事である。 ・ 防潮護岸工の嵩上げは、既設の波返し部分を取り壊した後にプレキャストブロック設置し、嵩上げを行うものであるが、自主的に二次製品の工場検査を行うなど、品質管理向上への取組が顕著である。 ・ また、消波ブロックの気泡発生対策や出来形計測にあたって創意工夫を行うなど、良好な施工管理に加え、近接する「JAXA-能代ロケット実験場」と緊密な連絡体制を構築し、実験に支障のないよう工程等に配慮するなど、優れた施工体制により工事を完成させた。

◆施工業者からのPR	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸工事という現場特有の気象条件を考慮し、コンクリート打設毎の受け入れ検査の徹底や現場作業員の安全に対する意識徹底を行い、品質向上と工期短縮を図ることができた。 ・ また、二次製品の工場検査を行い良好な資材調達に努めたほか、構造物の出来映えを意識した施工を行った。 ・ 今後も新たな技術の習得と創意工夫に努め、地域社会に貢献していきたい。



12 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川改修工事 29-KY24-B0		
路河川名/地区名	三種川	施工地名	三種町下岩川
商号又は名称	成田建設株式会社	許可番号	05-081298
請 負 額	70,505,640 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 成田 保		
監理技術者等	現場代理人 嶋津 命		
監督実施公所	山本地域振興局(建設部)		
主任監督員	藤谷 祐介	監 督 員	高橋 雄一
工 期	平成30年7月6日 ～平成31年3月29日	完成年月日	平成31年3月27日
概 要	1)市道宮橋 橋長40m 2)橋台(A1・A2) 2基		
特 徴	1)寒中コンクリート品質向上への取り組み、長寿命化への配慮 2)建設業イメージアップを図りながら、地域に密着した取り組み		
写 真			
			
完 成 A 1 橋 台 完 成 A 2 橋 台 完 成			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁下部工の施工であるが、コンクリートの品質管理において、国土交通省等で利用されている品質確保に関するチェックリスト等を使用したほか、NETIS登録されている新技術、資材等を積極的に取り入れた結果、非常に良質な構造物が施工できている。 ・施工現場は小学校の通学路に隣接していることから、安全管理にも一層の留意を必要とするが、小学生にもわかりやすい表示や低年齢の子供を想定した安全施設など、良好な安全管理であった。 ・地域の中高等学校に向け現場見学会を行ったり、地域住民への広報誌を定期的に配布するなど、建設業のイメージアップにも寄与した。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・良質で長寿命なコンクリート構造物、完成後の維持管理コスト低減を目指し、鉄筋・型枠組立、フレッシュコンクリート受入から打設・養生、全工程においてこだわりを持って追求し、発注者からもご協力をいただきながら品質向上に努めました。 ・建設業イメージアップをコンセプトに、工事着手前に作業所紹介パンフレットを、また工事中は月1回工事情報を記載した広報誌を近隣集落全軒(107軒)に配布し、苦情・意見を聴取するなど地域に密着した取り組みに努め、苦情やトラブルなく工事を完成することができました。 ・今後も進化し続ける時代に対応した技術の研鑽と創意工夫で地域社会への貢献に努めて参ります。



13 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	能代港第2灰捨護岸建設工事 29-Z102-K4		
路河川名/地区名	能代港	施工地名	能代市能代港
商号又は名称	加藤建設・清水組特定建設工事共同企業体		
請負額	265,795,560円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	株式会社加藤建設 代表取締役 加藤 正己		
許可番号	05-002392	監理技術者等	現場代理人 鈴木秀輝
(構成員)	株式会社清水組 代表取締役社長 清水 隆成		
(許可番号)	00-011421	(監理技術者等)	主任技術者 高橋隆二
監督実施公所	能代港湾事務所		
主任監督員	加藤 広一	監督員	寺山 大輔
工期	平成30年 3月 16日 平成30年 12月 20日	完成年月日	平成30年 12月 20日
概要	1) 施工延長L=91.1m 2) 根固ブロックN=104個 3) 上部コンクリートV=555m ³ 4) 上部ブロックN=76個 5) パラペットブロックL=93.9m 6) 消波ブロックN=416個		
特徴	1) 処分場南側の護岸築造工事 2) 波浪による影響を強く受ける 3) 基礎工が別途発注であり、工程調整重要		
写 真			
着手前		完成	
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 別途発注の基礎工事において、冬季波浪による海底地盤洗堀により基礎捨石が大幅に増工となり当工事の工程が遅れたものの、業者間で調整を密に行い工期の遅延もなく工事を完成させた。 ・ 当工事は海上工事であり気象・海象状況に影響されることから、台風及び波浪時のコンクリート打設方法等を工夫した結果、工程の遅れを最小限に止め期限内に工事を完成させたことにより、第2灰捨護岸建設工事全体の施工工程に影響を与えなかった。 ・ このように、他工区との工程調整及び気象・海象状況による作業の効率化等により期限内に工事を完成させるとともに、出来形や品質も高度な管理を確保しており、他の工事の模範となる。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上部コンクリート打設において、波浪時はコンクリートミキサー船の使用が不可能なことから、工程に支障を与えないために既設護岸からコンクリートポンプ車で施工しました。また、コンクリートポンプ車使用の際は上部コンクリート上が狭小なことから、作業員の転落防止のために安全通路を設置しました。施工中に6回の台風の影響を受けましたが、台風の動向を有料の気象情報提供サイトにて把握し、ピンポイントで打設計画を立てることが出来ました。台風による波浪に備え、大型土のう（本均しに使用する砕石を利用）を基礎天端に設置し、被災を未然に防ぐことが出来ました。



14 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	八郎潟2期地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 03602-K02		
路河川名/地区名	八郎潟2期地区	施工地名	八郎潟町川口
商号又は名称	菅与組・マルト建設特定建設工事共同企業体		
請 負 額	213,250,320 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社菅与組 代表取締役 菅原 孝次郎		
許可番号	05-000958	監理技術者等	現場代理人 菊地旭
(構 成 員)	マルト建設株式会社 代表取締役 山平 重明		
(許可番号)	05-003973	(監理技術者等)	主任技術者 佐藤一範
監督実施公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任監督員	保坂 学	監 督 員	保坂 征耶
工 期	平成30年8月24日～ 平成31年5月15日	完成年月日	平成31年3月27日
概 要	1)川口高架水槽 製作・据付工 N=1基 2)夜叉袋揚水機場 屋外配管・弁補修工 N=1式		
特 徴	1)寒冷期の施工における品質管理 2)別件工事受注者や受益者等との調整による円滑な実施		
写 真			
 <p>着手前</p>		 <p>完成後</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・寒冷期のコンクリート工事において、脱型後にシート養生（急冷防止）を実施したほか、仮囲い屋根を設置するなど品質管理を徹底し、塗装の品質確保が図られている。 ・同時施工していた別件工事（鋼構造物、電機設備）担当者間での密接な施工調整等により、適切に工程管理を行ったほか、地元土地改良区理事会での工事内容説明や現場見学会を開催するなど、工事への理解を得ながら円滑に実施し完成させている。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・有毒ガス中毒や酸素欠乏症を防止するため、保温養生中の内部作業に電気ヒーターと送風機を使用し、作業終了後は熱交換式温風機を使用することで、作業環境を整えつつ、品質・出来映えともに満足する製品をつくることのできた。 ・底版部の鉄筋の加工・組立て、側壁部材の現場組立てについて、円形のため難易度が高かったが、現地でその都度測定し、調整しながら加工を行い、また、部材間目地部の処理及びPCケーブルの緊張に配慮することにより、精度良く組み立てることができ、完全な水密性の確保を図ることができた。

15 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	樁(船川港)漁港地区 水産物供給基盤整備工事 11030-K03		
路河川名/地区名	樁(船川港)漁港地区	施工地名	男鹿市船川港樁
商号又は名称	三和興業株式会社	許可番号	05-080626
請 負 額	46,934,640 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 武田 鋭彦		
監理技術者等	現場代理人 鈴木 貴裕		
監督実施公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任監督員	田中 佳輝	監 督 員	今西 洋平
工 期	平成30年9月7日～ 平成31年3月15日	完成年月日	平成31年2月15日
概 要	1) 東防波堤(改良) L=44m		
特 徴	1) 防波堤保護のための根固ブロック及び被覆ブロック製作・据付工事 2) 環境配慮対策、積極的な地域貢献		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は樁漁港の東防波堤に根固ブロック及び被覆ブロックを製作・据付し、津波に対して安全性を確保するための改良工事である。 ・ブロック製作時に海への油流出防止対策として、油処理剤や環境に配慮した剥離剤を使用するなど、海洋汚染防止に努めた。また、養生シートを使用し、ブロックの品質確保が図られた。 ・ブロック据付作業がハタハタ漁期と重なることから、漁協や漁業者への説明及びチラシ配布を行うなど、地元調整を図りながら工事を円滑に進め、事故等の発生がなかった。 ・全国豊かな海づくり大会に向けたクリーンアップ活動へ参加するとともに、作業車両の提供を行うなど地域への貢献が顕著である。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック製作時に使用する型枠の剥離剤等が降雨により海へ流出することを防ぐため、油処理剤及び吸着マットを常備し、さらに環境に配慮した水性剥離剤を使用し、海洋の汚染防止と環境保全に努めた。 ・ブロック製作において、保温用と湿潤用の2種類のブロック専用養生シートを使用し、また、小型温度データロガーの使用等により温度変化を正確に把握し、コンクリートの品質確保に努めた。

16 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	砂奴寄地区 防災林造成工事 RD1103A121		
路河川名/地区名	砂奴寄地区	施工地名	秋田市新屋町
商号又は名称	村岡・高橋秋和特定建設工事共同企業体		
請 負 額	162,886,680 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	村岡建設工業株式会社	代表取締役	村岡 兼幸
許可番号	00-024470	監理技術者等	現場代理人 佐々木慶治
(構 成 員)	高橋秋和建設株式会社	代表取締役	堀江 拓成
(許可番号)	00-022980	(監理技術者等)	主任技術者 高橋均
監督実施公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任監督員	小野 圭	監 督 員	小塚 大幸
工 期	平成30年3月30日～ 平成30年10月31日	完成年月日	平成30年9月20日
概 要	1) 離岸堤 N=1基 (L=65.0m) 2) 捨石工 V=9,566.3m ³ 、ブロック据付工 N=190個		
特 徴	1) 他工事の影響で、秋田港での捨石積出しが7月以降になる条件下での工事 2) 浸食海岸で、10月以降の施工が困難な場所での工事		
写 真			
 <p>完成写真</p>		 <p>酒田港からの 捨石積出し状況</p>	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事契約前に多数の災害関係事業等の契約があった影響で、秋田港からの捨石積出し時期が7月以降になることが判明した。また、施工地は浸食海岸で10月以降の海上施工が困難な状況であった。そのような状況を踏まえ、受注者は、企業努力でにかほ市から捨石を酒田港に運搬し、そこから施工地まで海上運搬で施工して、工期の1ヶ月以上前に工事を完成させた。
- ・また、着工前測量で海底が1.5m程度深くなっていることを認識したため、将来計画に係る部分まで深浅測量を実施してデータを提供し、翌年度工事の計画作成に貢献した。

◆施工業者からのPR

- ・荒天波浪及び降雨による濁り水の流入が発生すると水中作業が3日以上不可能となる現場条件の中、捨石投入時の工夫や、GPSによる施工管理を実施し、捨石の均し作業や帆布敷設の作業短縮を図った。
- ・当初条件どおりでは捨石の調達が困難であったことから、調達先を切り換えることにより、円滑な工事の進捗を図り、工期を1ヶ月程度短縮した。

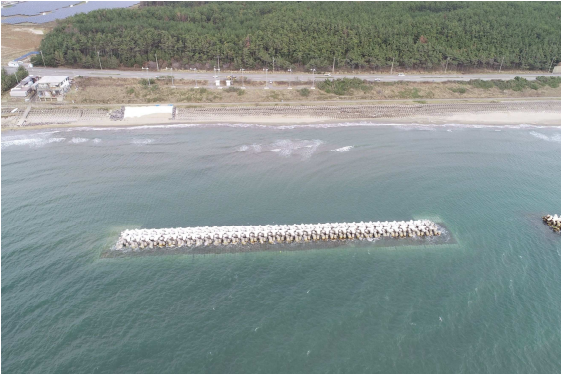

17 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金工事（改築） 29-HF20-30		
路河川名/地区名	川添下浜停車場線	施工地名	秋田市下浜羽川
商号又は名称	株式会社加藤建設	許可番号	05-002392
請負額	167,854,680 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	現場代理人 船木 幸広		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	大森 郁夫	監督員	堀井 克則
工期	平成30年6月1日～ 平成31年3月20日	完成年月日	平成31年3月20日
概要	1) 施工延長 L=238.7m W=6.0(8.5)m 2) 植生工 A=4,000m ² 3) 旧橋撤去 N=1式 4) 掘削工 V=21,930m ³ 5) 側溝工 L=524.6m 6) 法面整形工 A=3,391m ² 7) アスファルト舗装工（取付道路）A=438m ²		
特徴	1) ICTを活用した施工 2) 隣接工事との調整		
写 真			
 <p>着手前</p>		 <p>完成</p>	

◆監督実施公所の推薦理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・先進技術であるICTを活用して、3次元測量によるビジュアルでわかりやすい設計データの作成により、精度の高い施工や出来形管理が実施され、出来形や出来映えとも良好である。 ・当該工区は、国道7号で施工中の下浜道路と隣接しているが、互いに土の搬出が多いため、ダンプの往来等の調整が必要であったが、綿密な調整と工程管理により円滑に施工を実施した。 ・近傍には住宅地があるが、近隣住民とのコミュニケーションを図り、苦情なく工事を完成した。

◆施工業者からのPR	
	<ul style="list-style-type: none"> ・多量の湧水による法面崩壊が懸念されたため、暗渠排水管を小段及び法面に設置し道路側溝に排水することで法面崩壊を防止した。また、軟岩が露頭し、植生マット工では植生不良が懸念されたため、植生基材吹付工を提案し実施することで、長大法面の安定を図った。 ・本工事は秋田県ICT活用モデル工事であったことから、新たに必要な設備を導入し、社内にICTプロジェクトチームを組織した。また、インターンシップ、現場見学の依頼が多数あったが、依頼に全て対応し、ICT技術の講習や現場実習等を実施することで、インターンシップの学生等に対し「秋田で働くことの魅力」・「ICT施工の魅力」を十分に発信し、地域貢献できた。

18 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	海岸災害関連工事 29-MK11-51		
路河川名/地区名	天王海岸	施工地名	潟上市天王
商号又は名称	加藤建設・大森建設特定建設工事共同企業体		
請 負 額	239,425,200 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社加藤建設 代表取締役 加藤 正己		
許可番号	05-002392	監理技術者等	監理技術者 遠藤重勝
(構 成 員)	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
(許可番号)	05-081607	(監理技術者等)	主任技術者 大島新一
監督実施公所	秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	小玉 大史	監 督 員	鈴木 貴大
工 期	平成30年2月16日～ 平成30年11月30日	完成年月日	平成30年11月30日
概 要	1) 施工延長 L=115.9m 2) 捨石工 V=2525m ³ 3) 離岸堤工(堤体ブロック 12t) N=361個 4) 離岸堤工(被覆ブロック 3t) N=525個		
特 徴	1) 海岸工事 2) 自然条件を考慮した工事		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、平成29年1月に冬期風浪により被災した、天王海岸について復旧する工事である。施工期間は、比較的波が穏やかである4月から9月まで、さらに、悪天候時は作業が制限されるなど工期及び天候に制約がある中で、迅速かつ円滑に工事を完了させた。
- ・本工事は、海底地盤の変動に大きく影響されるため、GPS浚渫システムを使用した水中床掘を行い、作業の効率化及び工程短縮を行っている。
- ・離岸堤ブロック据付前の法線確認、被覆ブロック据付時において、ドローンを使用した施工管理を行い、ブロック据付の出来映えが良い。

◆施工業者からのPR

- ・現場海域は外海に面しており、気象・海象の影響を受けやすく、波浪・潮流の影響で海底地盤が変動しやすい現場条件であったため、水中床掘作業の増大、工程の遅れが懸念されたが、GPS浚渫システムの使用により、作業の効率化を図り、工期短縮を行うことができた。
- ・離岸堤のブロック据付時において、ドローンによる確認を行い、出来形管理の精度向上に努めた。



19 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	向浜ふ頭用地造成工事 29-Z401-20		
路河川名/地区名	秋田港向浜地区	施工地名	秋田市向浜
商号又は名称	株式会社沢木組・株式会社加藤建設特定建設工事共同企業体		
請 負 額	241,270,920 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
許可番号	05-005082	監理技術者等	現場代理人 能登谷孝介
(構 成 員)	株式会社加藤建設 代表取締役 加藤 正己		
(許可番号)	05-002392	(監理技術者等)	主任技術者 藤田正明
監督実施公所	秋田港湾事務所		
主任監督員	加藤 徹	監 督 員	藤原 隆幸
工 期	平成29年9月12日～ 平成30年6月27日	完成年月日	平成30年6月27日
概 要	1) 仮設ヤード造成工 V=28,655m ³ 2) ヤード防護工 袋型根固 (2t) N=1,200袋		
特 徴	1) 消波ブロック撤去・仮置に使用するヤードの造成工事		
写 真			
			
完成(全景)	ヤード端部土のう設置(創意工)		作業サイクル確立のための試験施工状況

◆監督実施公所の推薦理由
<p>・本工事のヤード造成箇所は、外港部のため波風が非常に強く、造成土砂の流出が懸念される工事であったことから土砂流出の防止が工事完成への課題となった。</p> <p>・施工業者は一日当たりの作業量及び作業サイクルを確立させるため自主的に試験施工を行い、工程管理を行った結果、造成土砂の沖合への流出を減少させることに成功し、大幅な遅れがなく工事を完成させたほか、後続の関連工事が遅延することなく着手可能を実現させた。</p> <p>・防護工を越波した海水の引き水対策として、ヤード端部へ大型土のうを設置したところ、竣工後の波浪によるヤード変形の軽減に成功し、関連工事の進捗に多大な効果を発揮している。</p>

◆施工業者からのPR
<p>・本工事施工箇所は、外港での作業のため波浪による土砂流出が懸念されたが、試験盛土による施工サイクルの決定や、盛土法面への大型土嚢設置、帆布による日々の終了時シート端部保護等により、土砂崩壊による手戻りの防止に努め、円滑な工事進捗を図った。</p> <p>・工事完了後の仮設ヤード保護として、防砂シート増幅や法肩部への大型土嚢設置を行い、設計以上の堅固なヤードを造成した。</p>

20 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	向浜ふ頭用地造成工事 29-Z401-K2		
路河川名/地区名	秋田港向浜地区	施工地名	秋田市向浜
商号又は名称	三和興業・広洋産業特定建設工事共同企業体		
請 負 額	276,712,200 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	三和興業株式会社 代表取締役 武田 鋭彦		
許可番号	05-080626	監理技術者等	現場代理人 中川 明
(構 成 員)	広洋産業株式会社 代表取締役 佐藤 均		
(許可番号)	05-001230	(監理技術者等)	主任技術者 原田 好二
監督実施公所	秋田港湾事務所		
主任監督員	加藤 徹	監 督 員	藤原 隆幸
工 期	平成30年3月30日～ 平成31年3月25日	完成年月日	平成31年3月25日
概 要	1) 構造物撤去工（消波ブロック） N=3,575個 2) 消波工（消波ブロック製作） N=200個		
特 徴	1) 向浜埋立予定地に設置されてる消波ブロックの撤去及び次年度以降に使用する消波ブロックの製作工事		
写 真			
			
ブロック撤去移設完了写真		ドローンによる全景写真(消波ブロック製作)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は埋立用地内に設置されている消波ブロックの撤去及び護岸本体に設置する消波ブロックの製作工事である。
- ・ブロック撤去区間は同年度発注の仮設ヤードが造成される区間のため、仮置場所を海上にする等して波浪の影響を軽減させる事に成功したほか、本体工事に使用するブロックの仮置位置が短くなったことにより今後実施する工事の工程短縮及び工費の削減を図ることができた。
- ・消波ブロックの製作は冬期間の作業のため、小型温度記録機器と電子ソフトを用いて記録・管理による適切な養生管理を実施した結果、品質低下することなく所定の強度を確保した。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は消波ブロック撤去場所は、外洋に面しており、強風や波浪による影響を受けるため、現場周辺のピンポイント予報により海象状況を正確に把握することで、効率的な工程の管理に努め、工事期間の短縮を図った。
- ・ブロック撤去において、仮置き場所を海上に変更し、他工区の波浪の影響を低減した。また、ブロック運搬距離が短くなったことで翌年度以降工事の工程短縮及びコスト縮減に貢献した。
- ・消波ブロックの製作について、冬期施工であったが、小型温度記録機器の使用による適切な温度管理、コンクリート単位水量試験頻度の拡大により、品質確保に努めた。

21 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事



◆工事概要			
工 事 名	鳥水台地区 復旧治山工事 RE1101A911		
路河川名/地区名	鳥水台地区	施工地名	由利本荘市南ノ股
商号又は名称	山勇建設工業株式会社	許可番号	05-001166
請 負 額	47,802,960 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 猪股 榮助		
監理技術者等	現場代理人 今野 治		
監督実施公所	由利地域振興局 (農林部)		
主任監督員	村川 晋	監 督 員	藤本 一広
工 期	平成30年3月30日～ 平成31年1月31日	完成年月日	平成31年1月31日
概 要	1) 治山ダム工 (コンクリート谷止工、コンクリート床固工) 2基 V=377.0m ³ 2) 仮設道路工 L=320.7m W=3.6m		
特 徴	1) 土石流が発生した溪流において、溪床に堆積した不安定土砂の移動防止を図るために治山ダムを設置する工事		
写 真			
NO.3床固工〔着手前〕		NO.3床固工〔完成〕	
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流は、急峻で溪床幅も非常に狭く、現場までの道路も市道から国有林道で幅員も狭く急勾配で砂利道という悪条件の中での工事である。また国有林道においても、災害復旧工事があり他工事との工程調整や安全管理への配慮が特に大変な工事であった。 ・施工中においては、降雨による土石流が発生したことにより、ダム工の構造変更や安全対策施設の設置等不足の日数を要したほか、今後の施工においては安全面に特段の注意が必要とされた工事であった。 ・上記のような非常に厳しい条件の中、工期の遅れ・労働災害・地元住民とのトラブルも無く、工事の出来映えも良好であった。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・降雨時における安全対策として、作業員の避難訓練、仮設土留め柵の設置を行い事故を防止するよう安全管理に努めた。 ・資材搬入で使用する林道の路面保護のため敷鉄板を設置して損傷を防止し一般車両への配慮又埋設管への保護を図った。 ・型枠を工夫することにより打設作業の効率化を実施また、コンクリートの養生管理を密にし適切な品質を確保するよう努めた。

22 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	道路災害復旧工事 30-0086-10		
路河川名/地区名	冬師西目線	施工地名	由利本荘市西目町西目
商号又は名称	有限会社三浦土木	許可番号	05-012221
請負額	12,229,920円	工種・格付	法面 A級
代表者	代表取締役 三浦 秀人		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 省三		
監督実施公所	由利地域振興局 (建設部)		
主任監督員	小林 勇	監督員	佐々木 格
工期	平成30年9月14日～ 平成31年1月25日	完成年月日	平成31年1月21日
概要	1) 復旧延長L=19.0m 2) 復旧幅員W=8.0m 3) 現場吹付法砕A=277.0m ²		
特徴	1) 安全対策の徹底 2) 対外関係に関するの工夫 3) 湧水処理に関する工夫		
写 真			
完成写真		完成写真	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、平成30年5月17日の豪雨により被災した道路法面の復旧工事である。
- ・平成30年9月14日の工事着手でありながら、各種の安全対策を講じ、作業事故もなく降雪前の平成30年11月22日には全面通行止を解除することができた。
- ・全面通行止による災害復旧工事であるが、適切な迂回路看板を設置したことにより、第三者からの苦情も無かった。
- ・湧水箇所自主的に平面排水材を設置し適切な排水処理が図られた。

◆施工業者からのPR

- ・法面湧水処理について早期に対応し、工期短縮を図った。
- ・巨石処理において安全性を考慮し、設計よりも抑止効果が高い工法で施工した。
- ・法面上部で確認された浮き石処理を安全性と工期短縮を考慮し、静的破碎工で施工し作業の効率化を図った。
- ・工事による通行止め期間を短縮するため、工程管理を適切に実施し積雪前に通行規制解除を実施した。


23 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	河川災害復旧工事 29-0246-10		
路河川名/地区名	芋川	施工地名	由利本荘市小栗山
商号又は名称	菊地建設株式会社	許可番号	05-001240
請負額	148,792,680円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 橋本 一康		
監理技術者等	現場代理人 小松 弘樹		
監督実施公所	由利地域振興局 (建設部)		
主任監督員	鎌田 利彦	監督員	伊藤 茂樹
工期	平成30年3月30日～ 平成31年3月22日	完成年月日	平成31年3月22日
概要	1) 復旧延長 L=321.5m 2) 護岸工 A=3,827m ² 3) 法覆工 A=1,340m ²		
特徴	1) 複雑な施工条件への対応 2) 工程管理の調整 3) 地域への貢献		
写 真			
			
着手前(上流より)		完成(上流より)	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、災害復旧工事であり、元々の河川断面に合わせ勾配が5分から2割まで変化している他、曲線部もあり、複雑な施工を要する現場であったが、現場状況に合わせた施工により優れた出来ばえで完成させた。 ・平成29年7月梅雨前線豪雨による災害復旧工事の発注が重なり、護岸等資材の供給に不測の日数を要したが、フォローアップ及び資材製造会社との連絡調整により、適切な工程管理がなされた。 ・近隣高校土木科を対象に現場説明会を実施した。説明だけでなく、実際の現場での作業体験もあり、参加者からの評判もよく、地元建設業への担い手確保に貢献している。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・既存堤防の保護と作業時の崩落・落石による事故を防止するため、敷鉄板を設置し安全管理に努めた。 ・地元地権者と協議し工事中における農作業への影響を考慮し、借地及び拡幅盛土をして農作業に支障がないよう配慮した。 ・コンクリートブロックの勾配変化部において、端部用調整ブロックを使用し、段差の低減を図り自然な仕上がりとするように努めた。

24 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	館下地区 ため池等整備（河川対応）工事 01502-K02		
路河川名/地区名	館下地区	施工地名	仙北市角館町川原
商号又は名称	角館建設工業株式会社	許可番号	05-000160
請 負 額	79,128,360 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 仲野谷 藤吾		
監理技術者等	現場代理人 藤原 治美		
監督実施公所	仙北地域振興局 （農林部）		
主任監督員	青木 隆行	監 督 員	岩谷 剛明
工 期	平成30年9月7日～ 平成31年3月15日	完成年月日	平成31年3月15日
概 要	1) 頭首工補修工 N=1式		
特 徴	1) ゲート据付工事との近接工事 2) 周辺への環境配慮及び地域貢献の取組		
写 真			
着手前	施工中	完成	
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は一級河川桧木内川に築造された農業用取水堰（可動堰）の補修工事である。 ・別件工事で取水ゲートの製作据付工事も同時に施工しており、水叩きや堰体補修工等の施工時は施工箇所が重複するなど工程管理が非常に重要であったが、無事故で工期内に完成させた。 ・冬期間の施工であったためコンクリートの品質管理が課題であったが、デジタル温度計を用いてコンクリート内部・外部の温度を計測するなど良質な養生管理により、コンクリートの品質が確保された。 ・積極的に地域住民や関係団体とのコミュニケーションを図ったほか、残土運搬時は市道の清掃を路面清掃機械で行うなど、地域への高い貢献が見られた。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は冬期間の頭首工補修工事であり、寒中コンクリートの施工である。 ・施工に先立ち地域住民には仮設材や使用材料等の運搬のため、工事車両の出入りが多いことを周知し、工事箇所に近接して民家があったことから、騒音対策にも重点を置き地域住民とのコミュニケーションを図ったことでスムーズに工事を進めることができた。 ・水利組合、漁協、隣接工事業者との打合せを密に行い、無事故無災害で地域とのトラブルもなく完成に至った。

25 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	下淀川地区 農地集積加速化基盤整備工事 06303-K05		
路河川名/地区名	下淀川地区	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	進藤建設株式会社	許可番号	05-002019
請 負 額	65,780,640 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 進藤 章		
監理技術者等	現場代理人 桜田 大輔		
監督実施公所	仙北地域振興局 (農林部)		
主任監督員	佐藤 隆志	監 督 員	三澤 克則
工 期	平成30年3月30日～ 平成30年11月30日	完成年月日	平成30年11月30日
概 要	1) 整地工 A=4.9ha 3) 道路工 L=1,303m 2) 水路工 L=2,177m		
特 徴	1) 2度の豪雨被害からの早期復旧及び安全対策の徹底 2) 河川工事からの基盤土搬入に伴う連絡調整及び工程管理の徹底		
写 真			
			
完成 (全景)		H30年5月豪雨による工事区域内の冠水	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事区域は、H29年7月豪雨で冠水被害を受けた範囲であり、区域内には淀川からの流入土砂や流木が堆積し、施工前にはそれらの撤去が必要な工事である。 ・また、H30年5月豪雨においても区域内が冠水し、2度の豪雨被害の影響を受けている。 ・2度の豪雨被害のほか、河川工事からの基盤土搬入 (V=6,335m³) のための工程管理など現場条件の制約が多い工事であったものの、業者間での連絡調整や工程管理を徹底し、工期を延ばすことなく工事完成を実現している。

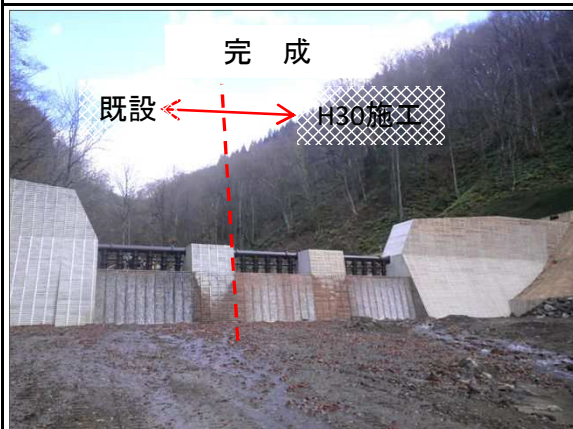
◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事の工区全域がH29年7月の豪雨による河川氾濫時の冠水被害をうけており、工区内の約7割が河川からの流入土砂および流木が混在しており、工事着手段階から工程への遅れが懸念されたが、早急に現地調査をし、発注者と協議を交わし、迅速に撤去作業を行った結果、一週間ほどで元のほ場状態まで復旧し、その後の工程に遅れを生じることなく工事を進めることができた。 ・河川工事から搬出される基盤土の受け入れにおいて、事前に搬出先業者と綿密な打合せを実施し、当初搬入計画の見直しを行い、必要とする耕区毎へ大型ダンプにて直接基盤土を搬入した結果、整地工の工期を大幅に短縮することができた。

26 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	岩井沢地区 治山施設機能強化工事 RF1115A011		
路河川名/地区名	岩井沢地区	施工地名	仙北市田沢湖生保内
商号又は名称	万六建設株式会社	許可番号	05-004995
請負額	74,879,640円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 田中 恒雄		
監理技術者等	現場代理人 田口 健一		
監督実施公所	仙北地域振興局 (農林部)		
主任監督員	小玉 正和	監督員	加藤 貴志
工期	平成30年6月25日～ 平成31年3月20日	完成年月日	平成30年12月5日
概要	1) 治山ダム工 (NO.2鋼製谷止工) N=0.5基 V=914.8m ³ 2) 仮設工 (任意仮設, 指定仮設) N=1式		
特徴	1) 秋田駒ヶ岳火山砂防基本計画に基づく治山ダム工 2) 既設の治山ダムの改築 (機能強化) 工事		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、既設のコンクリート治山ダム (H=5.5m, L=64.3m, b=1.8m) を鋼製スリットを用いた透過型治山ダム (H=7.5m, L=76.0m, b=3.0m) へと改良し、機能強化を図った工事である。
- ・作業の効率化及び徹底した工程管理により早期完成が図れた。また、これにより冬期の作業期間が短くて済んだため、出来映え、品質ともに優秀な成績に繋がった。
- ・工事の出来形管理、品質管理ともに優秀であり、資料が判りやすく取り纏められている。
- ・施行箇所が観光地に近接しているため、大型車の通行にあたっては、事前に近隣施設へ周知するなどして、安全の確保に努めている。
- ・作業の安全管理、災害等への備え、工事での創意工夫が優秀であった。

◆施工業者からのPR

- ・本工事施工箇所は観光地であり宿泊施設等が多いことから、工事受注時及び工事完了時において工事広報を配布し、地域住民や関係者とのコミュニケーションを図った。
- ・ダム施工箇所において、仮排水管へヤシマットを布設し、下流への汚濁防止対策を行った。また、緊急時及び災害時の油の流出による事故対策として現場内に油膜除去剤を配備した。
- ・ダム下流側の洗堀防止及び景観美化のため、現場内から採取した巨石により石積護岸及び水叩きを施工した。

27 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	災害対策等緊急工事 29-KA72-10		
路河川名/地区名	淀川	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請負額	277,568,640円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 畠山 精		
監督実施公所	仙北地域振興局 (建設部)		
主任監督員	富田 彰	監督員	吉田 正宏
工期	平成30年3月23日～ 平成30年12月7日	完成年月日	平成30年11月30日
概要	1) 施工延長 L=650.0m 3) 築堤盛土工 V=48,900m ³ 2) 掘削工 V=7,500m ³ 4) 植生工 V=12,120m ²		
特徴	1) ICT技術を全面活用した大規模土工の実施 2) 現場見学会・インターンシップの積極的な受け入れによる地域貢献		
写 真			
			
完 成	ICT建機による法面整形作業		現場見学会の実施

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事はICT技術を積極的に活用し取り組んだ現場である。
- ・ICT技術の活用により作業の効率化や現場作業での安全性の向上が図られると共に、出来形、品質ともに高度な精度を確保しており、他工事の模範となる工事である。
- ・地元高校生を対象に現場見学会を開催するなど、建設産業の担い手確保やイメージアップに取り組む姿勢が評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・測量から施工・出来形管理までICT技術を全面的に活用することで、重機と作業員の混在作業が大きく減少し、安全性の向上と作業の飛躍的な効率化を図ることができた。
- ・発注者に対して、計画段階から3次元設計データに基づいた築堤形状についての提案を積極的に行うことにより、工事完成時の出来栄を向上させた他、モバイル端末を利用した気象観測システムや車両運行システムなどの新技術を導入する事で安全管理を強化した。
- ・現場見学会やインターンシップの受け入れを3回ずつ実施し、ICT技術の体験研修など最先端の土木技術に触れてもらうことにより、建設業のイメージアップに努めた。

28 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	災害対策等緊急工事 29-KA72-20		
路河川名/地区名	淀川	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	秋田振興建設株式会社	許可番号	05-000250
請負額	220,001,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小原 将司郎		
監理技術者等	現場代理人 木元 公洋		
監督実施公所	仙北地域振興局 (建設部)		
主任監督員	富田 彰	監督員	松尾 卓哉
工期	平成30年3月23日～ 平成30年12月7日	完成年月日	平成30年11月26日
概要	1) 施工延長 L=724.8m 2) 築堤盛土 V=35,150m ³		
特徴	1) ICT現場見学会の実施 2) ICTの施工による工程の短縮		

写 真



完成写真



ICT見学会の実施


◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は平成29年7月豪雨により大きな被害を受けた淀川の緊急的な治水対策事業である。
- ・災害復旧工事の増加による人手不足が懸念されるなか、ICT技術を積極的に活用し、測量作業の効率化、ICT建機の自動制御によりオペレーターの熟練度に左右されることのない品質確保及び人員削減を図るなど他工事の模範となる工事である。
- ・地元高校生を対象とした現場見学会の開催やインターンシップの積極的な受け入れを行い、建設産業の担い手確保やイメージアップに貢献した。

◆施工業者からのPR

- ・河川増水による重機等浸水被害防止として、雨が強く降ると予想された時には、インターネットで水位・雨量の情報と現地を随時確認し、あらかじめ高台にある重機の避難場所を決め輸送会社と連絡を取っておくことで、いつでも待避させることができるようにした。
- ・交通災害防止の為、ダンプ運転手に運行経路の危険箇所ハザードマップを配布し注意喚起を行った。
- ・堤脚水路法面の浸食防止として、人工芝（アサシバ）を施工した。

29 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川災害関連工事 29-KH10-30		
路河川名/地区名	淀川	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	株式会社荒屋舗建設	許可番号	05-002793
請 負 額	179,548,920円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 今野 春夫		
監理技術者等	現場代理人 田村 洋信		
監督実施公所	仙北地域振興局 (建設部)		
主任監督員	木場 俊明	監 督 員	保坂 尚志
工 期	平成30年 9月10日～ 平成31年 3月25日	完成年月日	平成31年 3月25日
概 要	1) 施工延長 L=572.5m 2) 掘削工 V=71,400m ³ 3) 付替道路工 L=195.7m 4) 水路工 L=296.8m		
特 徴	1) 平成29年7月豪雨で氾濫・被災した淀川の改良復旧工事 2) 地域の関心が非常に高く、早期の工事完成が望まれていた		
写 真			
			



◆監督実施公所の推薦理由

- ・非出水期にV=71,400m³もの土砂を掘削・搬出して河積を拡大させる工事であり、厳しい工程と施工量の条件下にあったが、適切な工程管理に努め、円滑に工事を完成させた。
- ・工程管理においては、工期より逆算した日当たり必要施工量と土砂運搬のサイクルタイムから最適な重機及びダンプトラック台数を算出し、緻密な搬出工程を立てて管理された点が評価できる。このサイクル管理により、適宜台数を増やしてフォローアップを行った際も公道上に待機渋滞を発生させることなく、スムーズな通行が確保された。
- ・工事に関する広報の配布や定期的な自治会長宅訪問、企業努力による除雪や舗装補修の他、現場を訪れた地元住民への丁寧な対応など、地域からも高く評価されており、他の模範となる。

◆施工業者からのPR

- ・平常水位が高い状態での河道掘削だったため、別途工事で取り壊し予定であった起点側の川原堰頭首工の一部を自主施工で取り壊し、平常水位を低下させることで仕上がり精度の向上、融雪出水時における安全対策を行った。
- ・当初、狭い農道に対してループ方式に運搬路を確保する設計だったが、農道の損傷、除雪による圃場への砂利飛散等が懸念される事から運搬路を限定するべく行き止まり方式とした。稼働効率の低下が懸念されたが工事用道路の拡幅、退避場、回転場を整備し工期内に完成することが出来た。

30 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	田ノ植地区 農地集積加速化基盤整備工事 06704-K14		
路河川名/地区名	田ノ植地区	施工地名	横手市平鹿町中吉田
商号又は名称	株式会社吉田建設	許可番号	05-002514
請負額	159,899,400 円	工種・格付	一級土木 A級
代表者	代表取締役 吉田 博行		
監理技術者等	現場代理人 大友 貴宏		
監督実施公所	平鹿地域振興局 (農林部)		
主任監督員	佐藤 吉平	監督員	伊藤 清貴
工期	平成30年9月14日～ 平成31年3月25日	完成年月日	平成31年3月25日
概要	1) 幹線用水路 L=784m		
特徴	1) 施工箇所が既設水路と同一路線のため、水替え対策が課題 2) 工事期間が積雪期と重なり、通学路等の安全対策に留意		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完成状況（水路）</p>		 <p style="text-align: center;">完成状況（分水工）</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は既設水路の位置に大型コンクリートフリユーム水路を設置するものである。 ・冬期間は地区上流集落から流雪水等の流入がみられるため、仮設ポンプによる水替工を想定していたが、受注者から提案された仮掘り水路工法を採用し、ドライな状態での施工が可能となり、品質の向上が実現できた。 ・工事期間が積雪期と重なったほか、資材等搬入路が近隣小学校及び高校の通学路となっていたため、より一層の安全対策を求められたが、近隣学校から工事に関する要望や休校日等の確認、現地への適切な安全施設の設置など、きめ細かな安全対策に努めたことが評価できる。 ・完成した施設は、水路法線及びコンクリート打設部等の外観や仕上がりが良く、他の模範となる創意工夫もみられる。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・仮設道路の敷钢板幅を広げるなどの対応により、重機及び資材の運搬作業が円滑に進み、余裕のある工程を確保することができた。 ・市道横断工の施工では 仮設迂回道路を構築し、一般車両及び巡回バスの通行に支障の無い施工を実現した。通学路でもあったため歩車道分離の措置をとったほか、反射性の高い設備を活用し、学童含む歩行者が安全に通行できるよう配慮した。 ・測量作業（丁張、位置出し等）は自動追尾式トータルステーションを使用することで、作業に掛かる経費の削減及びヒューマンエラーによる計測ミス等がなくなり、施工性及び線形精度の向上につながった。


3 1 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	横手地区 農地集積加速化基盤整備工事 06604-K25		
路河川名/地区名	横手地区	施工地名	横手市三本柳
商号又は名称	株式会社最上田組	許可番号	05-006460
請 負 額	112,816,800 円	工種・格付	一級土木 A級
代 表 者	代表取締役 最上田 政司		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 学		
監督実施公所	平鹿地域振興局 (農林部)		
主任監督員	大木 寛	監 督 員	渡部 紘宣、桜庭 維吹
工 期	平成30年3月30日～ 平成31年3月20日	完成年月日	平成31年3月20日
概 要	1) 整地工 A=9.9ha 2) 用水路工 L=1,749m 3) 排水路工 L=1,426m 4) 道路工 L=2,246m 5) 暗渠排水工 A=2.9ha		
特 徴	1) 区画整理工事に I C T (情報通信技術) を用いた情報化施工 2) 環境への配慮や地域への貢献に努めた工事		
写 真			
  			
着工前	完成	ICT建機1台とオートレーザレベル2台による表土戻し作業	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3次元設計データを用いた計測及び誘導システムを活用し、整地作業において高精度で迅速な施工に努めたことにより、出来形・出来映えともに優れている。 ・ オートレーザレベルを活用し、掘削・法面整形などの土工作业において効率的な施工に努めたことにより、出来映えが優れている。 ・ 高校生の現場見学やインターシップの受け入れ、通学路の清掃や小学校への横断旗等の寄贈、周辺住民へ定期的に広報紙を配布するなど地域貢献に努め、地元から感謝された。 ・ 外部講師を招いた心肺蘇生法・AED使用訓練やVRによる仮想体験教育、油漏れを想定した油液処理訓練など充実した安全教育や訓練を実施し、無事故で工事を完了している。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 整地作業の中の3工種(表土はぎ・基盤切盛・表土戻し)でブルドーザの情報化施工を実施。設計図書、事前調査、起工測量を基に3次元設計データを作成し、ICT建機と従来機(オートレーザレベル)との併用作業で高精度・迅速化が達成されました。 ・ 資源のリデュースやリユースとして購入物を少量に抑えたほか、使用した杭や合板を丁寧に取り外し有効再利用しました。また、県認定リサイクル製品を使用するとともに、現場発生材の塩ビ管をリサイクルしゴミの減量化に努めながら循環型社会の形成に取り組みました。 ・ 現場見学会の実施、インターシップの受け入れ、通学路清掃、周辺地域の景観と調和したイメージアップ看板や登り旗設置、女性職員への両立支援など建設業における社会性の向上に努めました。



32 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金工事（雪寒） 30-FI07-10		
路河川名/地区名	野崎十文字線	施工地名	横手市大雄
商号又は名称	株式会社マルサ建設	許可番号	05-001264
請負額	76,583,880 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 義美		
監理技術者等	現場代理人 高橋 奈美子		
監督実施公所	平鹿地域振興局 （建設部）		
主任監督員	齊藤 誠	監督員	堅固山 衛
工期	平成30年6月29日～ 平成31年1月30日	完成年月日	平成31年1月7日
概要	1) 施工延長 L=392.0m 2) 防雪柵 H=3.5m L=392.0m 3) 防雪柵基礎 N=104基 4) 法面保護工 1式		
特徴	1) 冬季の交通視界不良等を解消するための防雪柵設置工事 2) 女性技術者登用モデル工事		
写 真			
			
完成写真	EパイラーによるH形鋼打込み状況 (現場に合わせた打込み機械の選定)	よこて建設女子会 (現場見学会)	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、一般県道野崎十文字線における冬期の視程障害不良等を解消するための防雪柵設置工事である。 ・作業スペースが狭い現場であったが、現地に合わせた施工、工程のフォローアップ等により無事故で工期内完成させ、出来形管理及び品質管理も高い精度であった。 ・女性技術者登用モデル工事として、横手市内の女子高生を対象とした現場見学会を行い、女性技術者から建設業の仕事をPRすることで建設業へのイメージアップに繋がるものであった。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・現況道路幅員が狭いうえ交通量も多く、どの工程も時間がかかるため工期内での完成が心配されましたが、施工機械の選定や油圧式ロードセルを使用しての支持力測定、工程の見直しなど、現場の状況に応じた施工方法に工夫を凝らし無事工期内に工事を完成させることが出来ました。 ・本工事は、女性技術者登用モデル工事として女性が建設現場で働いていることをアピールし、よこて建設女子会のイベントにて女子高生を招いて現場見学会を行うなど建設工事の魅力や、やりがいなどを伝えることができ、建設業のイメージアップに貢献できたと思います。

33 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	道路災害復旧工事 29災-0175-10		
路河川名/地区名	外山落合線	施工地名	横手市山内大松川
商号又は名称	有限会社野崎建設	許可番号	05-070132
請 負 額	28,620,000 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 B級
代 表 者	代表取締役 野崎 秋夫		
監理技術者等	現場代理人 中村 真人		
監督実施公所	平鹿地域振興局 (建設部)		
主任監督員	齊藤 誠	監 督 員	福田 行裕
工 期	平成30年3月30日 ~ 平成30年9月28日	完成年月日	平成30年9月25日
概 要	1) 樋道1号 延長 L=19.0m 幅員 W=6.2m 大型ブロック積 A=159m ² 舗装工 A=20m ² 2) 樋道2号 延長 L=16.0m 幅員 W=4.0~6.4m 大型ブロック積 A=123m ² 舗装工 A=46m ²		
特 徴	1) 施工箇所が山間部であり、床堀等の作業が地山へ影響 2) 大松川ダム上流であり、環境への配慮		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は平成29年7月22日～24日の梅雨前線豪雨により被災した外山落合線の道路災害復旧工事である。 ・ 施工に際し、ドローンによる空撮結果を施工管理のみならず、施工時の安全管理としても積極的に活用するなど、出来形、品質、安全管理ともに良好であった。 ・ 横手清陵学院高等学校の女子生徒による職場体験活動を実施し、将来の建設業担い手確保に関わる積極的な取り組みが評価できる。 	

◆施工業者からのPR	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 控 1.5m～0.75mの大型ブロックを使用した、もたれ擁壁構造ブロック積みによる道路復旧工事を施工しました。 ・ 現場は溪流釣りが行われる有名な河川でありましたので、環境及び生態系への配慮には特に留意しました。また、ドローンを施工管理及び安全管理に積極的に使用した他、その他多くの新技術を応用して成果品の品質向上に努めました。 ・ 施工実績のある施工業者を招き、第三者意見を取り入れた安全会議を設置する等の措置をほかり、徹底した安全施工を行いました。 	

3 4 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	第1槻沢地区 ため池等整備（ため池）工事 01804-K02		
路河川名/地区名	第1槻沢地区	施工地名	湯沢市下院内
商号又は名称	和賀・高嶋特定建設工事共同企業体		
請 負 額	168,078,240 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社和賀組 代表取締役 和賀 幸雄		
許可番号	05-001900	監理技術者等	現場代理人 平良隆志
(構 成 員)	株式会社高嶋組 代表取締役 高嶋 伸夫		
(許可番号)	05-002677	(監理技術者等)	主任技術者 佐藤和美
監督実施公所	雄勝地域振興局 (農林部)		
主任監督員	佐藤 誠樹	監 督 員	今田 裕樹
工 期	平成30年3月30日～ 平成31年3月11日	完成年月日	平成31年1月8日
概 要	1) 堤体工 掘削V=13,094m ³ 土質改良V=17,032m ³ 盛土V=14,445m ³ 2) 斜樋工 1式、底樋工 1式		
特 徴	1) 天候の影響を受けるため、適切な工程及び品質管理 2) 自走式土質改良機による土質改良		
写 真			
			
完成		完成	
		土質改良状況	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響を受ける堤体盛土工事であるため、降雨が予想される際の迅速な排水対策の実施と適切な工程管理及び品質管理に努め、良好に工事を完成させた。 ・出来形、品質がともに良好であり、現場条件の変化への対応も迅速であった。 ・創意工夫及び地域貢献活動に積極的に取り組む姿勢が見られた。 ・ため池受益者及び地域住民と積極的にコミュニケーションを図った。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・堤体盛土は試験盛土により施工基準を決定して施工することにより、現場密度試験及び現場透水試験とも十分規格値を満足する結果となり、良質な堤体を完成できました。 ・基礎部分の岩盤露出により、スラリー処理及びコンタクトクレイを施工して漏水対策を行いました。また、フルイ付の自走式土質改良機を使用して均一な改良土で施工しました。 ・集中豪雨時に適切な避難及び応急対策を行って、無事故で工事完成することができました。

35 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 29-HF26-30		
路河川名/地区名	大曲大森羽後線	施工地名	羽後町字西新成
商号又は名称	株式会社小野建設	許可番号	05-006332
請 負 額	56,228,040 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小野 雅敏		
監理技術者等	現場代理人 宇戸 睦		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	永澤 傑	監 督 員	高橋 勝喜
工 期	平成30年3月26日～ 平成30年10月31日	完成年月日	平成30年10月31日
概 要	1) 施工延長L=265m 2) 路床盛土V=2,700m ³ 3) フレキャストボックスL=44m 4) 側溝工L=9m 5) 管渠工L=43m 6) 集水柵工N=2箇所 7) 下層路盤A=2,374m ²		
特 徴	1) 建設残土を流用し、セメント改良による路床盛土工事 2) 3者連続の施工区間であるため、綿密な工程管理が必要		
写 真			
			
【完成】		【セメント改良状況】	

◆監督実施公所の推薦理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線上で本工事を含む3件の道路改良工事が同時に稼働する状況下において、現場代理人は工事安全連絡協議会会長を努め、直近の小学校を含む地元調整や通学路等の安全確保、工事間の連絡調整など積極的に活動した結果、事故や苦情等も無く無事に工事を完了させた。 ・本工事は、他工事で発生した建設残土にセメント系固化材を混合・改良し路床盛土に有効利用する工事であったが、改良土の品質向上を求めNETIS（新技術活用）に登録されている「バケット式スタビ混合工法」での施工を実施し、均一で良質な路床盛土を構築することが出来た。 ・月毎に工事の進捗状況が分かるドローンによる空撮写真を現場内に掲示し、地元住民に配慮するなど、技術・対外両面において他の模範となる。

◆施工業者からのPR	
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事安全連絡協議会の会長として、3者で綿密な連絡体制を取り合い同時期の運搬作業を避け交通渋滞の緩和に努めた。 ・盛土材の運搬路が歩道の無い通学路であるため、下校時には誘導警備員を増やし運搬車両が進入しないように待機させ児童の安全確保に努めた。 ・セメント系固化材と盛土材を攪拌する際、混合不足を解消するため、バケット式スタビ混合機を使用しムラなく完璧な攪拌を可能とし最高の試験結果を出すことができた。

36 第40回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	水産振興センター育成棟機械設備工事 3001		
路河川名/地区名	水産振興センター	施工地名	男鹿市船川港台島
商号又は名称	(株) 沢木組・互大設備工業(株) 特定建設工事共同企業体		
請 負 額	139,358,880 円	工 種・格 付	給排水冷暖房衛生設備 A級
代 表 者	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
許可番号	05-005082	監理技術者等	監理技術者 福岡幸一
(構 成 員)	互大設備工業株式会社 代表取締役 脇屋 憲一		
(許可番号)	05-008683	(監理技術者等)	主任技術者 酒井和也
監督実施公所	建設部営繕課		
主任監督員	武田浩一	監 督 員	今野新平
工 期	平成30年6月5日～ 平成31年3月15日	完成年月日	平成31年3月15日
概 要	1) 育成棟 (RC造 平屋建 延べ面積1,443.84㎡) 他における機械設備工事 (調温設備、水産配管設備、自動制御設備等)		
特 徴	1) 水位調整管などの各水槽配管において現場環境に合わせた最適施工 2) 施工マニュアルを活用した細やかな施工管理を行い、大口径配管の出来形及び品質を向上		
写 真			
			
調温制御装置		かけ流しシステム(棟内配管状況)	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存配管との切り替えについて施設管理者との調整を密に行い、海水や温水の既存施設への供給停止時間を最小限することができた。 ・ 前年度までに完成した生産棟及び親魚棟の設備の使いやすさについて、発注者や施設管理者から聞き取りし、水槽の水位調整管や配管位置をより現場環境に合わせた最適な施工を行った。 ・ 大口径配管の施工においてマニュアルなどを活用し、各種配管における施工手順や作業注意事項について施工教育を徹底し、きめ細やかな施工管理を行い、出来形及び品質が優れている。

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル水平器を活用し出来形を数値化することにより、従来の気泡水平器による曖昧さを無くし管理を行った。また、既存棟での経験を活かした独自の施工マニュアルを活用することにより、配管技量の統一化を図った。 ・ 引渡し後の維持管理性を向上させるために、各棟機械設備業者の埋設配管を集約し、『構内埋設配管総括図』を作成した。 ・ 前年度まで完成した棟での飼育実績より施設側より様々な要望があり、その度に発注者、施設管理者と協議し、タイムリーに方針を決め工事を円滑に進めた。

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井 啓一
選考委員	総	務	部長	名越 一郎
〃	農	林	水産部長	齋藤 了
〃	建	設	部長	小林 賢太郎
〃	出	納	局長	赤川 克宗

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	佐藤 和義
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)	
〃	部	会長 及川 洋
〃	専	門委員 徳重 英信
〃	専	門委員 後藤 文彦
〃	専	門委員 佐藤 悟
〃	専	門委員 永吉 武志
〃	(秋田県知事部局関係課室)	
〃	農地整備課長	舩谷 雅広
〃	水産漁港課長	阿部 喜孝
〃	森林整備課長	鈴木 光宏
〃	資源エネルギー産業課長	阿部 泰久
〃	建設政策課長	千葉 雅也
〃	技術管理課長	浅井 学
〃	道路課長	佐藤 秀治
〃	河川砂防課長	佐々木 寿一
〃	港湾空港課長	菅原 純

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

2 被表彰者は、施工企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂
平成12年4月1日一部改訂
平成16年4月1日一部改訂
平成18年4月1日一部改訂
平成19年4月1日一部改訂
平成20年4月1日一部改訂
平成21年6月1日一部改正
平成22年4月28日一部改正
平成23年4月25日一部改正
平成24年4月1日一部改正
平成28年2月9日一部改正
平成29年3月9日一部改正
平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P42の名簿参照のこと

第5回 秋田県優良業務表彰 業務一覧表

測量業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	面潟地区 特定農業用管水路等 特別対策業務委託 00801-Y02	面潟地区	株式会社測地コンサル タント	高橋 敦	秋田地域振興局
2	用地測量業務委託 30-29-HF60-Y1	横手大森大 内線	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	平鹿地域振興局
3	秋田工業用水道 第二送水管管路測量業務委託 30-KK-A2	秋田工業用 水道	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	公営企業課

地質調査業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	夜叉袋地区 湛水防除業務委託 00201-Y03	夜叉袋地区	秋田ボーリング株式会社	福岡 健	秋田地域振興局
2	県単災害査定調査業務委託 (地質調査) 29-8004-Y17	雄和岩城線	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	秋田地域振興局

土木設計業務部門



番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	松岡1期地区 戦略作物生産拡大 基盤整備促進業務委託 09401-Y01	松岡1期	柴田工事調査株式会社	柴田 昌英	雄勝地域振興局
2	赤竹地区 ため池等整備 (ため池)業務委託 03801-Y01	赤竹	株式会社興和技术コンサル タント	佐藤 功	雄勝地域振興局
3	道路災害測量設計業務委託 30-8005-Y1	十文字羽後 鳥海線	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	由利地域振興局
4	道路概略設計業務委託 30-I101-Y1	国道103号	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	鹿角地域振興局
5	道路予備設計業務委託 29-29-I107-Y9	横手停車場 線	東邦技術株式会社	石塚 三雄	平鹿地域振興局

調査点検等業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	土砂災害防止法基礎調査事業 基礎調査業務委託 30-LP80-Y1	雄勝地域振 興局管内	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	雄勝地域振興局
2	土砂災害防止法基礎調査事業 基礎調査業務委託 30-LP80-Y2	雄勝地域振 興局管内	株式会社自然科学調査 事務所	鈴木 建一	雄勝地域振興局

測量業務部門 1 第 5 回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

◆業務概要			
委託名	面潟地区 特定農業用管水路等特別対策業務委託 00801-Y02		
地区名	面潟地区		
商号又は名称	株式会社測地コンサルタント		
請負額	11,249,280 円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 高橋 敦		
管理技術者	加藤 力		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	保坂 学	調査員	保坂 征耶
工期	平成30年6月22日～ 平成30年12月14日	完成年月日	平成30年12月14日
概要	測量業務 N=1式 路線測量 L=4.2km 用地測量 A=2.1ha 基準点測量 N=10点		

◆受注者の声	
<p>《1. 業務の特徴》 面潟地区（八郎潟町）では石綿を含有する農業用管水路が敷設されているが、老朽化等に伴う農業関係者への健康被害が懸念され、撤去及び用排水路の変更などが要望されていた。このため、実施設計の基礎資料となる測量成果品を速やかに提出することが望まれていた。</p> <p>《2. 業務遂行上の課題と対応策》 当初の打合せでは、過年度に行われた業務の既存基準点を用いて実施することとしていたが、既存成果を確認した結果、基準点が測量範囲内の一部分にしか存在せず、4.2Kmの路線測量を実施するにあたって、所定の精度を確保することは困難な状態であった。 この課題を解決するため、計画路線を網羅する形で2級基準点測量の実施について提案させて頂いた。結果は、事業全体の骨格となる基準点を整備することで、今後行われる用地測量や登記業務並びに工事においても利用されることから、その有効性をご理解頂いた。</p> <p>《3. 主に工夫した点》 農道に設置される中心点においては、農業作業車等を傷つけ無いよう、状況に応じて適宜標識の種類を変更した。 工程管理においては、提案による基準点測量作業に伴い、予定していた地形測量の工程に影響しないよう、班編成を増やし対応した。これにより後続作業の工程を予定どおり実施することができた。</p>	 

◆発注公所の所見	
<p>・本業務の目的、現場条件を十分理解した上で業務を実施した。その上で精度向上のため、2級基準点測量を実施する提案を行う等、課題に対して積極的な対応がなされたことは高く評価できる。</p>	

◆業務概要			
委託名	用地測量業務委託 30-29-HF60-Y1		
地区名	横手大森大内線		
商号又は名称	奥山ポーリング株式会社		
請負額	7,911,000円	種別	測量業務
代表者	代表取締役社長 奥山 信吾		
管理技術者	小田嶋 良幸		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任調査員	吉田 正吾	調査員	佐藤 正志
工期	平成30年6月8日～ 平成31年3月29日	完成年月日	平成31年3月29日
概要	用地幅杭設置測量 L=0.64km 用地測量 A=11,313m ² 用地境界仮杭設置 A=2,713m ²		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴・課題】 主要地方道横手大森大内線の道路整備区間を対象に用地測量を行った業務である。対象区間の道路は住宅街にあり狭く視認性に劣ることから、過去には車両の接触事故や路面凍結に伴ったスリップ事故が発生している。また朝夕の混雑時には慢性的な渋滞が発生する路線である。このため道路線形の緩和や交差点への右折車線の設置などの道路整備計画が策定され、道路設計も完了していた。しかし道路用地の地権者より理解を得られず、道路計画を見直す必要が生じたため、道路の再設計や必要用地の確定に時間を要する事が予想された。このため今後の道路事業に遅延を生じさせずに、用地測量を完了する業務遂行体制の構築が必要となった。</p>	
	
<p>【課題解決に向けて工夫した点・苦労した点】 当路線は病院や小中学校が隣接する交通の要所であり横手北SICへのアクセス機能を担うことから、渋滞緩和、地域の安全確保を目的として早急に工事用地を確定する必要があった。また同区間では国土調査が行われていないため、土地の境界を確定するには接する土地の両所有者より同意を得る必要があった。この対応として個別対応で地権者より聞き取り調査を行い地権者との合意形成に努めた。</p>	

◆発注公所の所見	
<p>当工区は道路計画の変更により用地測量を再度行う必要が生じた箇所であり、事業の円滑な推進のためにも迅速な業務の完了が求められた。しかしながら、当地区は市街地であるにも関わらず国土調査未実施地域であり、地権者からの聞き取り等による同意を得ながら業務を進める必要があり、業務の遅延が懸念されたが、社内での業務分担体制などを的確に処置し、事業計画に遅れを生じさせることなく業務を遂行した。</p>	

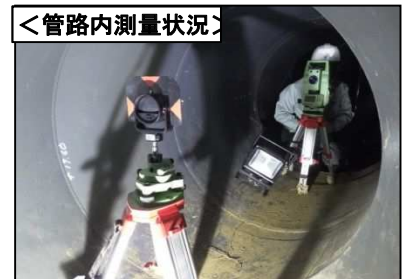
◆業務概要			
委託名	秋田工業用水道 第二送水管管路測量業務委託 30-KK-A2		
地区名	秋田工業用水道		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	18,423,720 円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	石綿 智幸		
発注公所	公営企業課		
主任調査員	村井 貴史	調査員	高階 優子
工期	平成30年5月28日～ 平成31年2月25日	完成年月日	平成31年2月25日
概要	3級基準点測量（地上） 10点 4級基準点測量（地下管路内） 142点 路線測量（地上） 7.0km		

◆受注者の声

【業務の特徴・課題】

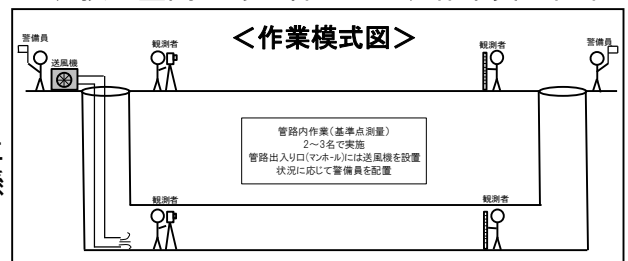
本業務は、秋田工業用水道第二送水管における新設対象の空気弁設計及び排水設備設計に向けた管路内測量を実施したものである。さらに、今後の維持管理や補修計画の検討に向け、管路埋設位置並びに地盤高・土被高を観測し、既存管理台帳の更新を行うとともに、管路内部の劣化や損傷・腐食・漏水・塗膜異常などの把握を行うなどの簡易点検調査を行ったものである。

- 管路内作業であることから、事故防止に向けた安全な作業環境整備が必要である。
- 管径φ1200～1600mmでの作業であり、狭小空間での効率的な作業遂行と作業工程の短縮化が必要である。
- 安全管理として管内作業員の健康・体調管理も重要である。



【課題解決に向けて工夫した点・苦労した点】

- 酸素欠乏症並びにその他ガスによる事故を防止する為、作業内容に即した送風設備配置を立案した。また、管路内滞留水の排水処理を実施し、安全な作業環境を確保した。
- 地上部の中心線測量は、ネットワーク型RTK法(VRS方式)を採用し、4級基準点の削減や作業工程の短縮により、コスト低減・作業の効率化を図った。また、狭小空間である管内では、作業員の往来が難しいため、通常とは異なる短脚の使用や機器据え付け時の脚ズレ防止として磁石を使用するなどの効率化を図り、迅速・安全に作業を実施した。
- 中腰での移動や観測を余儀なくされ、夏季時には高温多湿環境など作業員の身体的負担増が懸念されたため、3勤1休とし作業員の体調管理に努めた。



◆発注公所の所見

- ・当工区は管路内(φ1200～1600mm)での測量作業であり、作業環境が著しく厳しい現場であったが、積極的に問題の解決に取組み、作業方法の工夫や安全管理の向上に努め、円滑に業務を進めることができた。
- ・現場は秋田市街地の地下に埋設された管内での作業であるが、事前に地域住民及び関係機関への説明を行い、理解と協力を得ることが出来たため、順調に業務を進めることが出来た。

地質調査業務部門 1 第 5 回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

◆業務概要			
委託名	夜叉袋地区 湛水防除業務委託 00201-Y03		
地区名	夜叉袋地区		
商号又は名称	秋田ボーリング株式会社		
請負額	6,039,360 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 福岡 健		
管理技術者	石井 英二		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	保坂 学	調査員	保坂 征耶
工期	平成30年6月22日～ 平成30年10月31日	完成年月日	平成30年10月31日
概要	地質・土質調査 N=1 式 一般調査業務 L=98m（ボーリング等） 解析等調査業務 N=1 業務		

◆受注者の声	
<p>・業務の特徴 本業務は、八郎湖の東部承水路に隣接する夜叉袋排水機場の更新に伴う地質調査業務である。当該排水機場を含め近隣の排水機場が次々と更新時期を迎える中、夜叉袋排水機場が最初の更新対象となっている。今後同様の業務が継続されることが予想されるため、後続業務の参考となることを見据えて実施した業務である。</p> <p>技術的特徴としては、極めて軟弱な地盤上の構造物基礎調査である。</p> <p>・技術的に気をつけた点・苦労工夫した点等 本調査地では、前年度に既往調査が実施されていたため、ボーリング調査については地層の傾斜が把握できるように、既往調査を有効に生かした三角形の配置とした。また、試験項目については設計に支障をきたさないように、試験対象層等の提案を行った。</p> <p>現地調査では、適切な試験供試体がサンプリングできるようにケーシングの挿入とスライムの除去に努めた。軟弱な粘性土層で実施する孔内水平載荷試験に際しては、孔内の泥水の粘性・比重を管理して孔壁の押し出しをおさえ、かつ削孔終了直後に試験を実施するよう努めた。</p> <p>報告書とりまとめについては、地盤状況を精度よく把握した上で、設計及び工事施工に資することを念頭に置き、十分な考察を行うことに努めた。設計上必要なパラメータの算定に加え、軟弱で地下水位が高いという調査地の特性から、工事施工の安全性にまで踏み込み、止水壁での山留めの根入れ長について、右図に示すような二次元単列矢板条件における地盤モデルで検討した。また、耐震設計で必要となる地盤種別については、設計N値よりS波速度を推定し、各地層では波長の1/4が層厚に等しい地震波が増幅するという1/4波長則を用いて地盤種別を判定した。</p>	


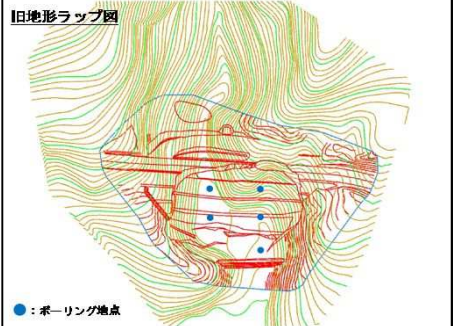
◆発注公所の所見	
<p>・自然条件や業務目的遂行のための対策など、業務目的を十分理解した対応は高く評価できるものである。</p>	

◆業務概要			
委託名	県単災害査定調査業務委託（地質調査） 29-8004-Y17		
地区名	雄和岩城線		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請負額	30,645,000円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役社長 奥山 信吾		
管理技術者	荻田 茂		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 浩喜	調査員	小林 吉仁
工期	平成29年7月31日～ 平成31年3月29日	完成年月日	平成31年3月29日
概要	機械ボーリング 97m 標準貫入試験 57回 簡易動的コーン貫入試験 7.7m 盛土工設計 1式		

◆受注者の声

業務の特徴
 当業務は、H29. 7. 22～7. 23の豪雨により発生した地すべりに関する地質調査および対策工設計を実施したものである。被災規模は幅約75m、長さ約66m、滑落崖高さ約5mで、県道が概ね全幅陥没し通行が困難となった。周辺には秋田空港があるほか、本路線は秋田地域と由利地域を結ぶ生活道路として雄和・岩城間の交流に寄与しており、交通量が比較的多い道路である。道路管理者により早期に迂回路が構築され対面通行が確保されたことから、安全管理のため地すべり変動を常時監視することが求められた（課題①）。また、地すべり形状が周囲の地形や旧地形に規制され特徴的な形状を示していたことから、対策工検討にあたっては地すべりの発生・運動機構を適切に評価する必要があった（課題②）。

技術的に特に気を付けた点・工夫した点
 課題①への対応として、地すべり変動をWeb上でリアルタイム監視でき、関係者が同時にデータ閲覧することが可能な自動監視システムを当地区に導入した。
 課題②では、当地すべりの特徴として地すべり末端部が尾根地形（規制地形）と開放地形にまたがっており、すべり面形状が複雑であることが予想された。旧地形図や道路建設時の既往設計図と本調査結果を精査し、旧地形および現地形から想定される地すべり発生の地形的素因、運動機構を整理して対策工検討に反映した。

◆発注公所の所見

・本業務は、平成29年7月の豪雨により被災した雄和岩城線の地すべり調査、測量、地質調査、盛土工詳細設計、災害査定申請資料作成を行う業務である。
 現場制約が多い中、受注者は密に工程を管理しフォローアップした結果、査定申請まで資料を整えることができた。

土木設計業務部門 1 第 5 回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

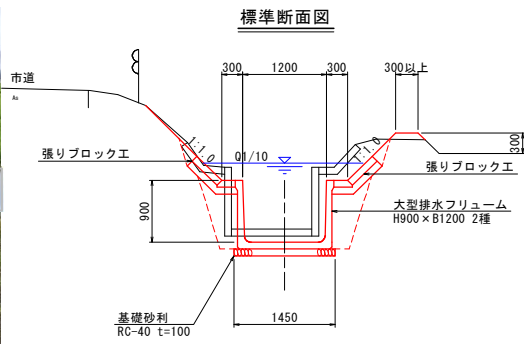
◆業務概要			
委託名	松岡 1 期地区 戦略作物生産拡大基盤整備促進業務委託 09401-Y01		
地区名	松岡 1 期		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	5,009,040 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 柴田 昌英		
管理技術者	保坂 龍弥		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任調査員	佐藤 誠樹	調査員	今田 裕樹
工期	平成30年10月15日～ 平成31年3月15日	完成年月日	平成31年3月14日
概要	補足設計業務 1式		

◆受注者の声

1. 業務の内容

本業務は、水田地帯を流下する流域面積 $A=3.00\text{km}^2$ の幹線排水路 $L=2.30\text{km}$ を整備し、ほ場条件を改善し戦略作物の生産拡大を目的とするものである。

本地区の基盤は、昭和47年～48年に県営大規模ほ場整備事業「雄平地区」で整備されたものであるが、整備後46年が経過した現在、排水路がコンクリート柵渠構造であるため、アームの破損や土砂の堆積等で流下能力が不足し、増水時には農地への冠水被害が生じている。



水路高 $H=0.90\text{m}$ の1/2相当に当たる $h=0.45\text{m}$ の土砂堆積

2. 技術的に工夫した点



屈曲部の直下流に位置する一部区間では、下流の直線部に比べ流速が緩く水位上昇による越水防止のため、溝畔高が非常に高く（約65cm）構築されていた。計画では、計画水路勾配を現況水路勾配より急勾配に設定したことや計画水路底を下げ越水防止の対策を講じた。この他にも極端に水路底が深く地形的に不具合が生じている区間等の改善を行ったものである。

◆発注公所の所見

- ・本業務は、老朽化の著しいコンクリート柵渠等の改修を行う実施設計である。施工時において常時排水量を仮廻しする必要があることや、オープン掘削では施工が困難な現場条件のため、高度な技術力を要するものである。
- ・設計方針について、発注者、土地改良区のほか関係機関などとも調整し、経済性を考慮しつつ現場に適した設計内容は、高く評価できる。

土木設計業務部門2 第5回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

◆業務概要			
委託名	赤竹地区 ため池等整備（ため池）業務委託 03801-Y01		
地区名	赤竹		
商号又は名称	株式会社興和技術コンサルタント		
請負額	10,009,440 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 佐藤 功		
管理技術者	黒澤 郁夫		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任調査員	佐藤 誠樹	調査員	今田 裕樹
工期	平成30年8月10日～ 平成31年3月15日	完成年月日	平成31年3月15日
概要	測量業務 N=1式 設計業務 N=1式		

◆受注者の声										
<p>【業務の特徴】 赤竹ため池は大正時代に築造された農業用ため池で、近年堤体下流法面が陥没、現在は陥没孔が拡大し危険な状況である。本業務はため池決壊の未然防止を目的に、ため池の測量+実施設計を行うものである。（堤体工H=5.3m、L=79m、洪水吐L=31m、取水施設L=32m、土取場工A=3000㎡、仮設道路L=50m）</p> <p>【業務遂行上の留意点】 堤体基礎部は軟弱層が2mほど介在、また底樋予定位置の地盤においても地盤支持力が不足しており、基礎対策が必要である。ため池構造物の基礎対策においては、力学性の増強に加え、止水性の確保が求められる。</p> <p>【工夫した点】 止水性を兼ねた地盤補強として、①良質土置換 ②浅層混合処理 の2案の工法を検討した。（杭基礎は境界面に空洞化を招くことから対象外）結果、前者①は周囲の山腹に掘削線がおよび、扱い土量が多くなり、経済性・環境面で劣る。よって「②浅層混合処理工法」を採用した。対象土層は粘性が強く改良材混合の際、ハンドリングが悪く強度発現の均一性が懸念された。改良深度や対象土量、規模からバックホウバケットにミキシング機能を有した建設機械の採用により、均一な強度発現、添加材割増量を最小限にする設計内容とした。また、表層部の有機質土に粘質分が含まれており、六価クロム対応型の改良材の採用、溶出試験の実施を計画した。</p>	 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="border: 2px solid red;"> <th style="border: 1px solid black;">底樋基礎工法</th> <th style="border: 1px solid black;">良質土置換</th> <th style="border: 1px solid black;">浅層混合処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: 1px solid black;">工事数量</td> <td style="border: 1px solid black;">掘削残土V=2000m³ 搬入土 V=1500m³ 置換土 V=450m³</td> <td style="border: 1px solid black; border: 2px solid red;">掘削残土V=1000m³ 搬入土 V=900m³ 供給設備 N=1式</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">工事費</td> <td style="border: 1px solid black;">20,000千円</td> <td style="border: 1px solid black; border: 2px solid red;">16,000千円</td> </tr> </tbody> </table> 	底樋基礎工法	良質土置換	浅層混合処理	工事数量	掘削残土V=2000m ³ 搬入土 V=1500m ³ 置換土 V=450m ³	掘削残土V=1000m ³ 搬入土 V=900m ³ 供給設備 N=1式	工事費	20,000千円	16,000千円
底樋基礎工法	良質土置換	浅層混合処理								
工事数量	掘削残土V=2000m ³ 搬入土 V=1500m ³ 置換土 V=450m ³	掘削残土V=1000m ³ 搬入土 V=900m ³ 供給設備 N=1式								
工事費	20,000千円	16,000千円								

◆発注公所の所見
<p>・本業務は、老朽化の著しいため池を改修するための実施測量設計である。現場の諸条件を踏まえて基礎地盤対策は「良質土置換工法」と「浅層混合処理工法」の2工法を組み合わせるなど、安定上、構造上、施工上の検討を総合的に行う高度な知識・技術力を有している。</p> <p>・また、設計内容はわかりやすく報告書に取りまとめており、事業説明会では受益者に写真や図を多く用いて説明するなど工夫が見られる点は高く評価できる。</p>

土木設計業務部門3 第5回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

◆業務概要

委託名	道路災害測量設計業務委託 30-8005-Y1		
地区名	十文字羽後鳥海線		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請負額	7,290,000円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役社長 奥山 信吾		
管理技術者	藤井 登		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任調査員	小林 勇	調査員	奥山 佳史
工期	平成30年5月25日～ 平成30年12月21日	完成年月日	平成30年12月21日
概要	アンカー付場所打ち法枠 1式 基準点測量 3級 3点 基準点測量 4級 20点 用地測量 1式		

◆受注者の声

【本被災の概要】

平成30年5月18日の豪雨（気象庁観測データ：観測地点「笹子」、日降雨量83.5mm/日、時間最大降雨量12mm/時間）により、道路山側切土のり面で幅11m程度、高さ15m程度、厚さ2m程度の表層崩壊が発生し、のり面に施工されていた4基の雪崩柵を含んだ崩壊土砂が現道を塞いだ。

【技術的に特に気を付けた点・工夫した点】

当切土のり面は凝灰岩の上位に亀裂の発達した風化凝灰岩が分布しており、被災後、風化凝灰岩の一部から湧水が確認されていた。崩壊の拡大を防ぐためにもまずは湧水処理が重要と考え、湧水箇所に塩ビ管を打設し、サニーホースをつないで被災区間外へ速やかに排水させた。この対応により、崩壊拡大の発生を抑制させた。

また、当業務の課題として、復旧対策工が完成する前に道路を早期に開通しなければならなかった。復旧対策工は「切土による復旧」、「吹付のり枠工+地山補強土工による復旧」、「落石防護柵による復旧」の3ケースで検討し、「吹付のり枠工（枠内モルタル吹付）+地山補強土工」を選定した。吹付のり枠工は、通常、枠を施工してから枠内の施工を行うが、亀裂の発達した風化凝灰岩部の崩壊や落石が懸念されていたため、応急本工事として枠内のモルタル吹付を先行して行うことによりのり面を安定させて、道路を早期開通させた。また、仮設の場合にはモルタル吹付厚さは3cmとするが、本工事の際に撤去が必要とならないよう、吹付厚さを10cmとして、本工事でもそのまま利用できる計画とした。

【苦労した点】

災害業務として被災から現地査定までの約2ヶ月間という短い期間で、迅速な対応が求められるなか、極力手戻りがないよう、発注者側との意思疎通を図りながら、限られた時間内で業務を遂行した。



◆発注公所の所見

・当該箇所は法面土砂崩落が発生し、全面通行止めを実施した。通行止めによる地域住民への影響を低減するため早期の復旧、さらに災害査定時期の関係から設計工期の厳守が求められた。
・対策として、打合せ協議を工程毎に行い受発注間の意思疎通を図った結果、手戻りを極力低減し工期厳守が可能となった。さらに、工期が厳しい状況にあつて、設計の品質確保も同時に行われていた。

土木設計業務部門 4 第 5 回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

◆業務概要			
委託名	道路概略設計業務委託 30-1101-Y1		
地区名	国道103号		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	6,436,800 円	種別	概略設計
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	高橋 誠		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	山内 和彦	調査員	小野寺 裕司
工期	平成30年5月11日～ 平成31年1月31日	完成年月日	平成31年1月31日
概要	道路概略設計（B） L=1.59km 構造物詳細設計 1式		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本業務箇所は、国道103号と国道454号の結節点であり、十和田湖観光の玄関口であるため、主要な観光ルートとして必要な位置となっている。 ●十和田湖観光の主要なルートである事から、大型観光バス等が多く通行する箇所である。 ●現道は、曲線半径R=30mの小さな曲線が連続したS字カーブ区間および急な縦断勾配区間（約7%）となっており、車両の走行性・安全性が確保されていない状況である。 ●多種多様なコントロールポイントがあったため、これらを考慮した線形検討が必要である。（下図参照） ●事業化に向けた資料作成として、事業効果算定（B/C）等の資料を短期間で作成する必要がある。 <p>【課題解決に向けて工夫した点・苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●複数のコントロールポイントを回避するとともに、国立公園内である事から、切土量・盛土量のバランスよい線形計画とした。 ●多くの関係機関協議が必要となる事から、協議先や協議内容、協議時期を取りまとめた、マネジメントシートを作成した。 ●環境省協議資料や事業化採択に向けた資料（事業効果算定B/C）等について、リアルタイムな協議資料作成により、円滑な事業進捗に寄与する工夫を行った。 	<p style="text-align: center;">凡例（コントロールポイント）</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 十和田湖 関連事業範囲 保安林 流路工 史跡 <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">国立公園内（全域）</p> </div> <div style="width: 80%; text-align: center;"> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">コントロールポイント図</p> </div> </div>

◆発注公所の所見	
	<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所は、十和田八幡平国立公園内において道路概略設計を行う業務である。 ・自然公園地域内や隣接には保安林区域があることから、設計する上で様々なコントロールポイントを踏まえながら、業務を遂行することが出来た。 ・新規事業化に向けて、工程に制約があり時間がないにもかかわらず、遅れることなく資料が作成され、内容についても分かりやすく、評価することが出来た。

◆業務概要			
委託名	道路予備設計業務委託 29-29-1107-Y9		
地区名	横手停車場線		
商号又は名称	東邦技術株式会社		
請負額	4,145,040 円	種別	予備設計
代表者	代表取締役 石塚 三雄		
管理技術者	伊藤 誉志広		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任調査員	碓石 信太郎	調査員	寺田 龍
工期	平成29年8月10日～ 平成30年7月31日	完成年月日	平成30年7月31日
概要	道路予備設計（A） L = 0.45 km 平面交差点予備設計 N = 2 箇所 交通量調査 N = 1 地点		


◆受注者の声

1. 業務の特徴
横手駅停車場線の道路交通の安全性向上と円滑化のため、現道を拡幅して歩道を設置する道路予備設計及び事故が多発している変形五差路他の交差点予備設計を行ったものである。

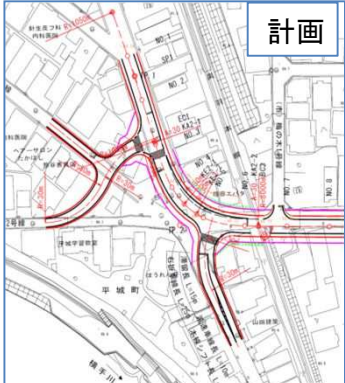
2. 平城交差点の課題と対応策
交差点形状の比較検討、関係機関との協議を経て以下に決定。

- ① 変則交差点（道路構造令P453）
構造令：原則、主交通が右左折になるような変則交差は避ける
対応策：主道路の平面曲線を改良しクラク的な右左折を緩和
- ② 変形交差点（道路構造令P453～454）
構造令：原則、くい違交差、折脚交差などの変形交差は避ける
対応策：変形五差路を2箇所のT字交差に分割
- ③ 交差角（道路構造令P452）
構造令：原則、直角またはそれに近い角度：75° 以上
対応策：T字交差として90° で交差
- ④ 踏切からの直線区間（道路構造令P583）
構造令：原則、30m
対応策：線形改良、拡幅により現況と同じ直線区間を確保
- ⑤ 右折車線（道路構造令P469）
構造令：原則、右折車線設置
対応策：（市）駅北線との交差では右折車線相当幅員を拡幅

3. 交通事故対策
'07年以降平城交差点で7件の交通事故が発生し4件が自転車と自動車。対応策は両側歩道で自動車と分離しかつ横断箇所を限定。



現況



計画

◆発注公所の所見

・本業務は国道13号とJR横手駅（東口）を結ぶ重要な路線である（主）横手停車場線において、事故が多発している区間の道路拡幅等の道路予備設計及び変形五差路の交差点予備設計を行ったものである。本区間は、両側に家屋があり、変形五差路のすぐ近くには線路が横断しているなど、設計をする上での制約が多かったが、補償範囲を最小限にしかつ車両交錯点を減らすことで歩道の連続性を確保したものとなり、こちらの求める成果となった。

調査点検等業務部門 1 第5回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

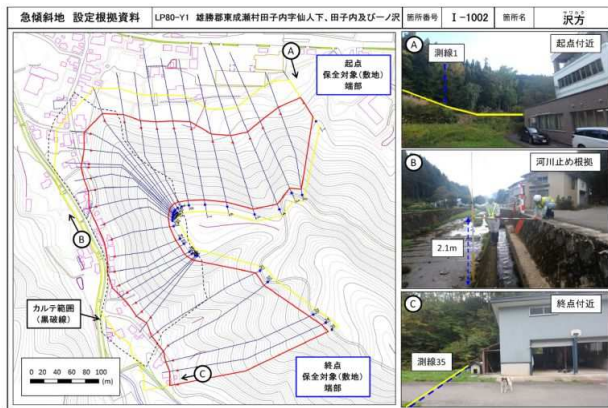
◆業務概要			
委託名	土砂災害防止法基礎調査事業 基礎調査業務委託 30-LP80-Y1		
地区名	雄勝地域振興局管内		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	35,373,240 円	種別	単純調査等業務
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	新川 武則		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 智昭	調査員	菊池 秀樹
工期	平成30年6月25日～ 平成31年2月22日	完成年月日	平成31年2月20日
概要	基礎調査（急傾斜地）34箇所 基礎調査（土石流）34箇所		

◆受注者の声

【業務の特徴・課題】
 本業務は、土砂災害から「国民の生命及び身体を保護するため」土砂災害が発生するおそれのある土地の域を明らかにし、警戒避難体制の整備を図ることにある。

【課題解決に向けて工夫した点、苦労した点】
 土砂災害が発生する土地の区域を明らかにするため「急傾斜地では起点・終点」「土石流では基準点」の設定に留意した。
 そのため、当社独自の取り組みとして、現地調査結果から設定根拠が見える化した「設定根拠資料（下記に添付）」を作成し、業務関係者が理解し易い取りまとめ方の工夫を行い業務を遂行した。

●急傾斜地設定根拠



●土石流設定根拠

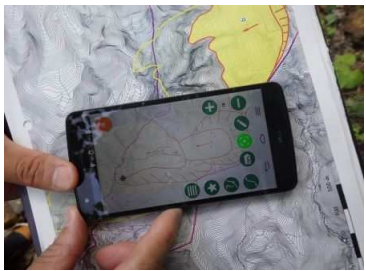


◆発注公所の所見

- ・現地での測量において、レーザー計測器及びGPS付きの機器を使用することで、作業の効率化と精度の向上を図っている。
- ・現地調査に先立ち、地元住民に対し資料を提示しながら調査内容の説明を十分に行っており、本業務に対する地元住民の理解と協力を得ることが出来たため、順調に事業を進めることが出来た。

調査点検等業務部門2 第5回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

◆業務概要			
委託名	土砂災害防止法基礎調査事業 基礎調査業務委託 30-LP80-Y2		
地区名	雄勝地域振興局管内		
商号又は名称	株式会社自然科学調査事務所		
請負額	19,539,360 円	種別	単純調査等業務
代表者	代表取締役 鈴木 建一		
管理技術者	山口 実		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 智昭	調査員	菊池 秀樹
工期	平成30年6月25日～ 平成31年3月25日	完成年月日	平成31年3月25日
概要	基礎調査（地滑り） 33箇所		

◆受注者の声	
<p>本業務は雄勝地域振興局管内（湯沢市・羽後町・東成瀬村の3市町村）の地すべり危険箇所について土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域及び特別警戒区域を設定したものである。また、地元住民への周知として、ハザードマップ案を作成し、説明会を開催した。業務の実施に当たっての留意点は以下の通りである。</p>	
<p>1. 広範囲な調査箇所の状況把握 調査箇所が雄勝地域振興局管内の3市町村の広範囲にわたるため、GISを用いた統括的なデータ管理及び資料整理を実施し、業務を遂行した。</p>	
<p>2. 現地調査の精度管理及び効率化の取り組み 現地調査の実施に当たっては、机上設定した区域を現地で確認するために紙資料のほか、机上設定図面を取り込んだスマートフォンを携帯し、GPS機能を用いて現在地を把握することにより作業の効率化及び精度向上を図った。砂防基盤図には現れない微地形箇所や対策工の位置をGPSにより容易に把握でき、また机上設定図面で現在地の把握ができることにより、区域のチェックや修正等を比較的容易におこなうことができた。</p>	
<p style="text-align: right;"></p> <p style="text-align: right;"><スマートフォンでの確認状況></p>	
<p>3. ハザードマップ案の作成及び住民説明会の実施 設定した土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の地元説明会の実施に当たっては、本業務で実施した地すべりにおける警戒区域等のみではなく、これまでに基礎調査が実施され公示されている土石流や急傾斜の土砂災害警戒区域も含めたハザードマップ案を作成し、地域住民への土砂災害の危険箇所の周知を図った。</p>	

◆発注公所の所見	
<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査の実施にあたって、机上調査で区域設定したデータを取り込んだGPS付きの機器を使用することで、作業の効率化と精度の向上を図っている。 ・現地調査に先立ち、地元住民に対し資料を提示しながら調査内容の説明を十分に行っており、本業務に対する地元住民の理解と協力を得ることが出来たため、順調に事業を進めることが出来た。 	

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井啓一
選考委員	総	務	部長	名越一郎
〃	農	林	水産部長	齋藤了
〃	建	設	部長	小林賢太郎
〃	出	納	局長	赤川克宗

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	佐藤和義
幹事	農地整備課長	舩谷雅広
〃	森林整備課長	鈴木光宏
〃	建設政策課長	千葉雅也
〃	技術管理課長	浅井学

秋田県優良業務表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該業務の成績評定が優秀であること。
- (2) 当該業務において事故等による減点がないこと。
- (3) 当該企業における各業務の成績が良好であること。
- (4) 当該企業において各業務の成果品について瑕疵修補又は損害賠償が実施されていないこと。
- (5) 当該企業において労働災害がないこと。
- (6) 他の模範となるものと認められる業務であること。

(選考委員会)

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表彰)

第6条 被表彰者は、受託企業の代表者（共同企業体の場合にあつては、構成員のそれぞれの代表者）及びその業務を担当した管理技術者とする。

(事務局)

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年6月1日一部改訂

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

令和元年5月20日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P57の名簿参照のこと

ユタカな国へ

あきた
びじょん
た

